○岡山商科大学学則

(昭和40年4月1日 制定)

改正				
昭和41年	4月 1月	∃ ∄	昭和42年	4月 1日
昭和43年	4月 1月	∃ ⊩	昭和44年	4月 1日
昭和45年	4月 1月	∃ ∄	昭和45年1	1月30日
昭和47年	2月12日	∃ ⊩	昭和48年	4月 1日
昭和48年1	2月18日	∃ ⊩	昭和50年	2月28日
昭和51年	3月12日	∃ ∄	昭和52年	3月11日
昭和52年1	1月30日	∃ ∄	昭和53年1	1月30日
昭和54年1	1月30日	∃ ∄	昭和55年1	1月28日
昭和57年	1月29日	∃ ⊩	昭和57年1	1月27日
昭和58年1	2月10日	∃ ⊩	昭和60年	3月19日
昭和61年	2月24日	∃ ∄	昭和61年1	0月 7日
昭和62年1	2月22日	3 3	平成 元年	3月29日
平成 元年1	1月15日	3 3	平成 2年1	2月25日
平成 3年	3月30日	3	平成 3年	9月24日
平成 4年	3月30日	3	平成 4年	5月30日
平成 5年	3月30日	3	平成 5年	5月26日
平成 6年	3月26日	3	平成 6年	5月30日
平成 7年	3月30日	3	平成 8年	3月29日
平成 9年	3月28日	3	平成10年	3月27日
平成10年1	0月20日	3	平成11年	3月29日
平成12年	3月29日	3 3	平成12年1	0月17日
平成12年1	1月30日	3	平成13年	1月30日
平成13年	3月29日	3	平成13年	6月26日
平成14年	4月19日	3	平成14年1	1月15日
平成15年	6月 6月	3	平成16年	4月14日
平成16年	5月11月	3	平成16年1	1月30日
平成17年	5月13日	3	平成18年	5月 2日
平成18年1	2月19日	∃ :	2007年	5月24日
2007年	6月18日	∃ :	2007年	7月12日
2008年	2月12日	∃ :	2008年	5月16日
2009年	3月30日	∃ :	2009年	5月26日
2009年1	0月 1月	∃ :	2010年	3月29日
2010年	5月27日	∃ :	2010年1	2月 2日
2011年	3月28日	∃ :	2011年	5月27日
2011年1	0月 3月	∃ :	2012年	3月27日

2	0	1	2年1	2月	4	日	2	0	1	3年	3月	2	9	日
2	0	1	3年	5月2	8	日	2	0	1	4年	3月	2	7	日
2	0	1	4年	5月2	7	日	2	0	1	4年	9月	1	8	日
2	0	1	5年	3月2	6	日	2	0	1	5年1	0月	2	7	日
2	0	1	6年	3月2	5	日	2	0	1	6年	5月	2	7	日
2	0	1	6年	9月2	6	日	2	0	1	7年	3月	2	8	日
2	0	1	7年	5月2	6	日	2	0	1	8年	3月	2	6	日
2	0	1	9年	3月2	7	日	2	0	1	9年	5月	3	1	日
2	0	1	9年1	1月1	5	日	2	0	2	0年	3月	2	7	日
2	0	2	0年1	1月2	7	日	2	0	2	1年	3月	2	6	日
2	0	2	1年	5月2	8	日	2	0	2	2年	3月	2	8	日
2	О	2	2年	5月3	0	日	2	0	2	2年	9月		5	日

第1章 総則

(目的)

第1条 岡山商科大学(以下「本学」という。)は、建学の精神及び教育理念に基づき、法律、経済及び経営に関する専門的学術の教授、研究及び社会貢献によって、社会、国家及び人類のために、有為な人材を育成することを目的とする。

(教育研究上の目的)

第1条の2 各学部、学科は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、次の 通り定める。

学部・学科	教育研究上の目的
法学部 法学科	法学、政治学に関する理論的・実践的な教育研究を行い、法学、政治学の専門知識を活かして社会に貢献することができ
	る人材を育成することを目的とする。
経済学部 経済学科	経済学に関する理論的・実証的な教育研究を行い、これにより経済学に関する知識と、問題を解決するために必要な能力を有する人材を養成することを目的とする。
経営学部 経営学科	経営学、情報・メディア学及び会計学に関する教育研究を行い、社会、とりわけ企業という組織の中で創造的に貢献できる能力を持った人材を育成することを目的とする。
経営学部 商学科	商学に関する理論的・実践的な教育研究を行い、企業や社会 におけるビジネス上の課題を解決できる能力を持った人材 を育成することを目的とする。

(3つのポリシー)

- 第1条の3 前条の教育上の目的踏まえて、次の各号に掲げる方針を別表3に定める。
- (1) 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)
- (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)
- (3) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

(岡山商科大学 基本方針)

第1条の4 別表4に「岡山商科大学 基本方針」を定める。

(自己評価等)

- 第2条 本学は、教育研究水準の向上を図るとともに、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行う。
- 2 前項の点検及び評価を行うため、本学に自己点検・評価委員会を置く。
- 3 自己点検・評価委員会に関する規程は、別に定める。 (学部・学科)
- 第3条 本学に法学部、経済学部及び経営学部を置く。
- 2 法学部に法学科、経済学部に経済学科、経営学部に経営学科及び商学科を置く。
- 3 本学及び学部、学科の英訳名称は次の通りとする。

名称	英訳名称
岡山商科大学	Okayama Shoka University
法学部	Faculty of Law
法学科	Department of Law
経済学部	Faculty of Economics
経済学科	Department of Economics
経営学部	Faculty of Business Administration
経営学科	Department of Business Administration
商学科	Department of Business and Commerce

(大学院)

- 第4条 本学に大学院を置く。
- 2 大学院に商学研究科、法学研究科及び経済学研究科を置く。
- 3 大学院並びに研究科の英訳名称は次の通りとする。

名称	英訳名称
大学院	Graduate School
商学研究科	Graduate School of Commercial Science
法学研究科	Graduate School of Law
経済学研究科	Graduate School of Economics

4 大学院に必要な事項は、第44条から第49条まで並びに第54条及び第55条に定めるもののほか、別に大学院規程で定める。

(別科)

- 第4条の2 本学に留学生別科を置く。
- 2 入学定員は50名とする。
- 3 留学生別科に必要な事項は、別に留学生別科規程で定める。

第2章 修業年限及び定員

(修業年限)

- 第5条 修業年限を4年とする。ただし、編入学をした者の修業年限は、4年から、編入学 を許可された年次前の年次に相当する期間を控除した期間とする。
- 2 前項に定める修業年限において、1年次12か月、2年次12か月、3年次12か月、 4年次12か月の修業期間を要するものとする。

(在学年数)

第6条 在学年数は、8年を超えることができない。ただし、編入学をした者の在学年数は、 8年から、編入学を許可された年次前の年次に相当する期間を控除した期間を超えることができないものとする。

(収容定員)

第7条 各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
法学部	法学科	100名	_	400名
経済学部	経済学科	80名	3 0名	380名
経営学部	経営学科	170名	20名	720名
(性 色 子前)	商学科	100名	10名	420名

第3章 学年・学期・休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 1学年の授業は30週 (ただし、定期試験等の日数は、含まない。) とし、1学年を前・後の2期に区分する。前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、必要に応じ教授会の意見を聴き、これを変更することができる。

(休業日)

第10条 休業日は、次のとおりとする。ただし、学長は、必要に応じ教授会の意見を聴き、 これを変更することができる。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

春季休業日 3月23日から4月2日まで

夏季休業日 8月1日から9月30日まで

冬季休業日 12月21日から翌年1月10日まで

2 前項のほか、学長は、特に必要と認められるときは教授会の意見を聴き、臨時休業日を 定めることができる。ただし、緊急を要すると認められるときは、学長が専決できるもの とする。 第4章 教育課程

(授業科目)

- 第11条 授業科目を一般教育科目、専門科目、インターンシップに関する科目、教職課程 に関する科目、学芸員課程に関する科目及び特設授業科目に分け、これを4年間に履修さ せる。
- 2 前項の授業科目のほかに、特別単位認定科目を置く。ただし、特別単位認定科目の単位は、前項の授業科目中の一般教育科目又は専門科目の単位に充当するものとする。
- 3 授業科目、特別単位認定科目及び単位数は、別表1のとおりとする。
- 4 一般教育科目、専門科目の体系は、別表3の2に定める。

(授業の方法)

- 第11条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれら の併用により行うものとする。
- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で 履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業は、授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 第2項に関し必要な事項は、別に定める。

(必修科目等)

第12条 別表2に定める授業科目及び単位数は、必修とする。

(単位)

- 第13条 各授業科目の単位数は1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容を もって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間 外に必要な学修等を考慮して、次の基準によって算定する。
 - (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 外国語科目の授業については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち、二以上の方法の 併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前3号に規定する基準を考 慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 特別単位認定科目の単位数は、1単位から4単位とし、合計8単位を超えないものとする。特別単位認定科目の単位数及び単位認定の可否は、単位認定を求める学生の申請に基づき、当該学生の所属する学部の単位認定審査会による審査を経て、当該学部教授会の意見を聴き、学長が決定するものとする。単位認定申請の要件、単位認定審査会の構成等については、別に定める。
- 第5章 履修方法・試験・学習評価及び学位

(一般教育科目の履修)

第14条 一般教育科目については、各学科で別途定める単位数以上を修得しなければな

らない。

2 前項の単位数には、特別単位認定科目として修得した単位を、合計8単位を超えない範囲で含めることができる。

(専門科目の履修)

- 第15条 専門科目については、各学科で別途定める単位数以上を修得しなければならない。
- 2 前項の単位数には、特別単位認定科目として修得した単位を、合計8単位を超えない範囲で含めることができる。
- 第15条の2 削除

(他大学等における履修)

- 第16条 教育上有益と認めるときは他の大学又は短期大学との間で協議により単位互換に係る協定を行うことができる。
- 2 前項の場合において、学生が当該他の大学又は短期大学で履修した授業科目について 修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学において修得したものと認めることが できる。
- 3 前2項の規定は、外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。ただし、第1項 の協定はこの限りではない。
- 4 前3項における授業科目の履修等については、別に定める。 (入学前の既修得単位)
- 第17条 本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(第56条第2項により修得した単位を含む。)を、入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、編入学、転学部等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第16条第2項及び第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 第1項における既修得単位等の認定については、別に定める。 (試験)
- 第18条 原則として各学期末に試験を行う。
- 2 試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。試験に合格した者 にその授業科目の単位を与える。

授業科目の評価点及び対応するGPA(Grade Point Average)は、次のとおり定める。

点数	評価	GPA	合否
100点~90点	優	4	合格
89点~80点		3	
79点~70点	良	2	
69点~60点	可	1	
5 9 点以下	不可	0	不合格

(卒業の要件・決定)

第19条 卒業の要件は、第5条に定める修業年限以上本学に在学し、各学科において別途

定める方法により合計124単位以上を修得することとする。

- 2 前項の単位数には、特別単位認定科目として修得した単位を、合計8単位を超えない範囲で含めることができる。
- 3 学長は、第1項の要件を満たした者について教授会の意見を聴き、卒業を決定する。 (学位の授与)

第20条 前条により卒業した者には、次のとおり学士の学位を授与する。

法学部 法学科 学士(法学)

経済学部 経済学科 学士(経済学)

経営学部 経営学科 学士(経営学)

商学科 学士(商学)

2 学位の英訳名称は次の通りとする。

名称	英訳名称
学士 (法学)	Bachelor of Law
学士 (経済学)	Bachelor of Economics
学士 (経営学)	Bachelor of Business Administration
学士 (商学)	Bachelor of Business and Commerce

3 学士の学位の授与について必要な事項は、別に定める。

(教員免許状)

- 第21条 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定め る単位を修得しなければならない。
- 2 本学において取得できる免許状の種類及び教科は、次のとおりである。
 - (1) 法学部法学科·経済学部経済学科

中学校教諭一種免許状 社会

高等学校教諭一種免許状 公民

(2) 経営学部経営学科

高等学校教諭一種免許状 商業

高等学校教諭一種免許状 情報

(3)経営学部商学科

高等学校教諭一種免許状 商業

(学芸員の資格)

第22条 学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法に基づき本学の定める科目及び単位を修得しなければならない。

第6章 入学・編入学・転学部(科)・休学・退学・転学及び除籍 (入学)

第23条 入学及び編入学は、学期の始めとする。

(入学資格)

- 第24条 本学に入学し得る者の資格を次のとおり定める。
 - (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定 試験に合格した者
 - (7) 専修学校の高等課程(修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者

(編入学年・学科)

第25条 第7条に定める3年次編入学定員のある学科のほか、2年次及び3年次で欠員 のある学科については、編入学を許可することがある。

(編入学資格)

- 第25条の2 編入学することのできる者の資格は、次のとおりとする。
 - (1) 他の大学(4年制)に1年以上在学した者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 高等学校の専攻科の課程(修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者
 - (5) 専修学校の専門課程(修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者
 - (6) 本学をやむを得ない事由により退学した者
 - (7) 外国において14年以上の学校教育を受け、短期大学卒業以上の資格を有する者 (転学部等)
- 第26条 本学の学生で、本学の他の学部又は同一学部の他の学科に転学部又は転学科(以下「転学部等」という。)を志望する者は、所属学部長の承認を得て、在籍のまま転学部等を志願することができる。
- 2 転学部等は、志願先学部の教授会において学部及び学科別に在学学生数を勘案して転 学部等の志願者を受け入れることができると認められた場合に限り、志望先学部の教授 会の意見を聴き、相当年次に学長が許可することがある。
- 3 転学部等を許可された者の在学期間の通算については、志望先学部教授会の意見を聴き、学長が認定することで、前学部又は前学科の在学期間内において、その学部又は学科

において在学したものとみなすことができる。

- 4 転学部等を許可された者の履修単位の認定は、志望先学部教授会の意見を聴き、学長が 行う。
- 5 転学部等を志願する者は、所定の書類に所定の転学部等検定料を添え、指定される期間 内に志願の手続きをしなければならない。

(入学志願手続)

第27条 入学・編入学を志願する者は、所定の書類に所定の入学検定料を添えて、指定の 期間内に手続きをしなければならない。

(選考試験)

第28条 入学又は編入学を志願する者については、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて選考試験を行う。

(入学手続及び許可)

- 第29条 選考試験の結果に基づき合格通知を受けた者は、指定の期間内に所定の書類を 提出するとともに所定の納付金を納付しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学又は編入学手続きを完了した者に入学又は編入学を許可する。
- 3 第23条から前項までに定めるもののほか、入学、編入学、転学部等に関し必要な事項 は、それぞれ別に定める。

(休学)

第30条 学生が疾病又はやむを得ぬ理由によって、3か月以上修学することができないときは、その期間を定め、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、保護者又は保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を得たうえ、休学することができる。ただし、休学開始日より前までの授業料、教育充実費を納付しなければならない。

(休学期間)

- 第31条 休学期間は、原則として通算2年を超えることができない。
- 2 休学期間は、第5条に定める修業年限、第6条及び第19条に規定する在学年数に算入 しない。

(復学)

- 第32条 休学期間中に、休学の理由が消滅したときは、その後の休学を取り消し、復学を 願い出ることができる。
- 2 前項の休学の取り消しが、修学することができなくなってから3か月未満の間に行われたときは、当該修学しなかった期間は、休学扱いとはならないものとする。

(退学・転学)

- 第33条 疾病又はやむを得ない理由により、退学若しくは転学しようとする者は、事由書 を添えて、保護者又は保証人連署をもって願い出て、学長の許可を受けなければならない。
- 2 前項に定めるところにより退学した者は、願により復学させることができる。
- 3 退学及び復学の取り扱いについては、別に定める。 (除籍)
- 第34条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。
 - (1) 死亡した者
 - (2) 長期間にわたる行方不明の者

- (3) 第6条に定める在学年数を超える者
- (4) 授業料、教育充実費(以下「授業料等」という。)を所定の期日までに納付しない者
- 2 前項第4号に定めるところにより除籍された者は、願により復籍させることができる。
- 3 除籍及び復籍の取り扱いについては、別に定める。

第7章 入学検定料、入学金及び授業料等

(入学検定料・入学金・授業料等)

第35条 入学検定料及び編入学検定料並びに入学金及び編入学金並びに授業料等の額は、 次のとおりとする。

外のこわりこりる。		
費目	金額	備 考
(1)入学検定料	30,000円	ただし、試験の種類等によって以下の
		金額とする。
		①15,000円
		②10,000円
		③5,000円
		④徴収しない
編入学検定料	30,000円	ただし、試験の種類等によって以下の
		金額とする。
		①15,000円
		②10,000円
		③5,000円
		④徴収しない
/ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ . \ \ \ . \ \ \ . \ \ \ . \ \ \ . \ \ \ \ . \		

- (2)入学金、編入学金 100,000円
- (3)授業料 年額 780,000円 前期・後期の分納とする。
- (4)教育充実費 年額 320,00円 前期・後期の分納とする。
- 2 入学検定料及び編入学検定料並びに入学金及び編入学金の納付期間は、各入学年度ごとに別に定めるものとし、授業料等の納付期限は、次のとおりとする。
 - (1) 前期 4月30日 ただし、新入学生及び新編入学生については、各入学年度ごとに別に定める。
 - (2) 後期 10月31日

(その他の納付金等)

第35条の2 前条に定めるもののほか、第11条に定める教職に関する科目及び博物館に関する科目の履修その他実践学習等に係る納付金並びに転学部・学科、追・再試験料、各種証明書料その他手数料・使用料等については、別に定める。

(納付)

第36条 すべての納付金は、所定の期日内に納付しなければならない。

(納付金の返還)

第37条 納入した納付金は、これを返還しない。ただし、入学手続に係る納付金の取り扱いについては別に定める。

(納付金の変更)

第38条 在学中、授業料その他納付金に変更のあった場合は、新たに定められた金額を納付しなければならない。

(休学中の授業料等)

- 第39条 休学中は、在籍料として、1か月あたり10,000円を徴収する。
- 2 前項において、当該期間の授業料等が既に納付されている場合は、第37条の規定にか かわらず月割りで算出した額の該当月数分の額を返還するものとする。

(納付金規程)

第39条の2 第35条から前条までに定めるもののほか、入学検定料及び編入学検定料 並びに入学金及び編入学金並びに授業料等その他納付金に関し必要な事項は、別に定め る。

(学修奨励制度)

- 第40条 本学での学修を奨励することを目的として、学業並びに人物が優れていると認められる者を対象とした、奨励制度を設けることができる。
- 2 前項の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(留学生の授業料等)

- 第41条 私費外国人留学生については、その学業、留学生活等の状況に応じ、授業料の全部若しくは一部を減免し、又は留学生奨学金等を支給することができる。
- 2 前項の取り扱いについては、別に定める。

第8章 賞罰

(表彰)

- 第42条 学術及び性行が優秀であって他の模範となる学生は、学部長の推薦により学長 が表彰することがある。
- 2 表彰に関する取り扱いは、別に定める。

(懲戒)

- 第43条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の 意見を聴き、学長が懲戒する。
- 2 懲戒の種類は、訓戒、停学及び退学とする。
- 3 前項の懲戒は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 正当な理由がなくて出席常でない者
 - (3) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
 - (4) 学習を怠たり、成業の見込みがないと認められる者
- 4 懲戒に関する取り扱いは、別に定める。

第9章 教職員組織

(教職員組織)

- 第44条 本学に次の教職員を置く。
 - (1) 学長

- (2) 大学院に大学院長
- (3) 学部に学部長
- (4) 大学院研究科に研究科長
- (5) 教授、准教授、講師及び助教
- (6) 教学部、入試部に部長、附属図書館に館長、キャリアセンター、産学官連携センター 及び学生活動支援センターにセンター長並びに事務局に局長
- (7) 事務職員
- 2 本学に次の教職員及び研究員を置くことができる。
 - (1) 副学長
 - (2) 学長補佐
 - (3) 学長特命補佐
 - (4) 学科に学科長
 - (5) 教学部、キャリアセンター、入試部及び事務局に次長並びに附属図書館に副館長
 - (6) 特別研究員
 - (7) 研究員
 - (8) 事務職員以外の職員
- 3 前2項及び次条から第55条までに定めるもののほか、教職員の職制、職務その他本学の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 評議会・教授会

(評議会)

第45条 本学に評議会を置く。

(評議会の審議)

第46条 評議会は、最高議決機関として、第48条に掲げる事項について審議する。 (評議会の構成)

- 第47条 評議会は、次に掲げる評議員をもって構成する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 大学院長
 - (4) 各学部長
 - (5) 各大学院研究科長
 - (6) 教学部長、キャリアセンター長及び入試部長
 - (7) 附属図書館長
 - (8) 産学官連携センター長
 - (9) その他学長が必要と認める教職員 若干名

(評議会の附議事項)

- 第48条 評議会に附議する事項は、次のとおりとする。
- (1) 学則及び諸規程の制定、改廃に関する事項
- (2) 大学組織(大学院、研究科、学部、学科、事務組織等)の再編成、開設、廃止等に関する事項

- (3) 大学施設の改廃、新設に関する事項
- (4) 大学の事業計画、予算に関する事項
- (5) 人事に関する事項
- (6) 大学の行事に関する事項
- (7) 収容定員に関する事項
- (8) 学生の厚生補導、身分に関する事項
- (9) その他大学の教育研究、管理、運営に関する重要事項(反倫理的行為を含む) (評議会の関係規定)
- 第49条 前4条に定めるほか、評議会に関し必要な事項は、別に定める。 (教授会)
- 第50条 各学部に教授会を置く。

(教授会の構成)

第51条 教授会は、教授・准教授・講師及び助教をもって構成する。ただし、教授会において学部長が必要と認めた時には、その他の教職員を出席させることができる。

(教授会の附議事項)

- 第52条 教授会は学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議して意見を述べる。
 - (1) 学生の入学 (編入学含む)、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして別途学長が定めるもの。
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 3 前2項のほか、必要な事項を報告することができる。 (教授会の関係規定)
- 第53条 前3条に定めるほか、教授会に関し必要な事項は、別に定める。
 - 第11章 附属図書館・産学官連携センター・学生活動支援センター (附属図書館・産学官連携センター・学生活動支援センター)
- 第54条 本学に附属図書館、産学官連携センター及び学生活動支援センターを置く。
- 2 附属図書館、産学官連携センター及び学生活動支援センターに関し必要な事項は、別に 定める。

第12章 厚生・保健施設

(厚生保健)

- 第55条 本学に保健室その他の厚生保健に関する諸施設を置く。
- 2 厚生保健に関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生・聴講生等

(科目等履修生・聴講生)

- 第56条 第29条による入学生及び編入学生以外の者であって、本学において特定の授業科目の履修を希望するものは、本学の教育研究に支障がないと認められる場合に限り、選考のうえ、該当教授会の意見を聴き、科目等履修生又は聴講生として許可することができる。
- 2 前項の許可を受けた者のうち科目等履修生は、当該履修科目の試験を受け、単位の認定 を受けることができる。

(研究生)

- 第57条 第29条による入学生及び編入学生以外の者であって、本学において特定の教 員の下で特定の研究を希望するものは、本学の教育研究に支障がないと認められる場合 に限り、選考のうえ、該当教授会の意見を聴き、研究生として許可することができる。 (委託生)
- 第58条 他の学校、公共機関その他の団体等から、その所属する者について、本学において特定の授業科目を履修させるために委託の願い出がある場合は、本学の教育研究に支障がないと認められるときに限り、選考のうえ、教授会の意見を聴き、委託生として許可することができる。

(外国人特別学生)

- 第59条 外務省又は当該関係機関、本邦所在外国公館、外国大学その他外国の公共機関等から、外国人について、本学において特定の授業科目の履修又は特定の教員の下における特定の研究をさせたい旨の願い出がある場合は、本学の教育研究に支障がないと認められるときに限り、該当教授会の意見を聴き、外国人特別学生として許可することができる。(科目等履修生等に関する細則)
- 第60条 科目等履修生・聴講生、研究生、委託生及び外国人特別学生の取り扱いに関する 細則は、それぞれ別に定める。

第14章 その他

(改廃)

第61条 この学則の改廃は、評議会の議を経て、学長の意見をふまえ理事会で決定する。

附則

- この学則は、昭和40年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和41年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和42年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和43年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附則

- この学則は、昭和45年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和46年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和47年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和48年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和49年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和50年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和51年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和52年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和53年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和54年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和55年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和56年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和57年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和58年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和59年4月1日から施行する。 附 則
- この学則は、昭和60年4月1日から施行する。 附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、第5条第1項(注、現学則第7条)の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度(注、平成11年度)までの間の入学定員は、次のとおりとする。

1,70,000				
学部 • 学科等	入 学 定 員			
商学部				
商 学 科	300名			
産業経営学科	150名			

計 450名

附則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第39条第1項において法経学部 教授会が成立するまで、その議決は商学部教授会において代行する。

附則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第5条第1項(注、現学則第7条) 及び附則(昭和61年4月1日施行)の規定にかかわらず、商学部については平成3年度から平成11年度までの間の入学定員を次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
商学部	
商 学 科	340名
産業経営学科	180名
計	520名

附則

この学則は、平成3年9月30日から施行する。

附則

この学則は、平成4年4月4日から施行する。ただし、第5条第1項(注、現学則第7条)、 附則(昭和61年4月1日施行)及び附則(平成3年4月1日施行)の規定にかかわらず、 平成4年度から平成11年度までの間の入学定員を次のとおりとする。

学部・学科等	入 学 定 員
商学部	
商 学 科	340名
産業経営学科	180名
計	520名
法経学部	
法 学 科	150名
経 済 学 科	150名
計	300名

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、改正後の第33条の規定は、平成8年度の入学生から適用する。

附則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条の規定は、平成9年度の入学生から適用する。

附則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条の規定は、平成10年度の入学生から適用する。

附則

この学則は、平成10年10月20日から施行する。ただし、改正後の第34条第2項及び第3項は、平成10年度前期分の納付金の未納による除籍者から適用し、同第35条第1項は、平成11年度の入学生から適用する。

附則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附即

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、特別単位認定科目に係わる事項は、平成12年10月1日から施行する。
- 2 第7条の規定にかかわらず、商学部商学科及び商学部産業経営学科の入学定員及び収容定員は、平成12年度から平成15年度までの間、次のとおりとする。

年 度	平成	1 2 年度	平成	13年度	平成	1 4 年度	平成	15年度
学部 • 学科	入学定員	収 容 員	入学定員	収 容 員	入学定員	収 容 員	入学定員	収 定 員
商学部								
商学科	326名	1、386 名	312名	1、358 名	298名	1、316 名	284名	1、260 名
産業経営学科	170名	730名	160名	710名	150名	680名	140名	640名

附則

この学則は、平成12年11月1日から施行する。ただし、改正後の第35条第1項第1号の規定は、平成13年度編入学の志願者から適用する。

附則

この学則は、平成13年1月6日から施行する。

附則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成14年10月1日から施行する。

附則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日までに入学した学生は、なお、従前の例による。

附則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、2007年6月1日から施行する。
- 2 2008年3月31日までに入学した学生は、なお、従前の例による。

附則

この学則は、2007年2月12日から施行する。ただし、改正後の第35条第1項第1号の規定については、2009年度の入学生から適用する。

附則

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 2009年3月31日までに入学した学生は、なお、従前の例による。

附則

この学則は、2009年5月26日から施行する。

附則

この学則は、2010年1月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。ただし、第3条第3項、第4条第3項、 第20条第2項については2010年1月1日から施行する。
- 2 2010年3月31日までに入学した学生は、なお、従前の例による。

附則

この学則は、2010年6月1日から施行する。

附則

- 1 この学則は、2010年12月2日から施行する。ただし、別表1の改正規定のうち「教職実践演習(中・高)」は同年4月1日から適用し、その他の改正規定は2011年4月1日から適用する。
- 2 2010年3月31日までに入学した学生は、なお、従前の例による。

3 2011年3月31日までに入学した学生は、「教職実践演習(中・高)」を除き、なお、 従前の例による。

附則

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2011年10月3日から施行する。ただし、別表1のキャリア科目、教職に関する科目に関する改正規定は、2011年10月3日から施行し、博物館(学芸員)に関する科目の改正規定は、2012年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附即

この学則は、2012年12月4日から施行する。

附則

この学則は、2013年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2013年6月1日から施行する。

附則

この学則は、2014年3月27日から施行する。

附則

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。ただし、第7条の3年次編入学定員については、2016年4月1日から実施し、2016年3月31日までは、なお、従前の例による。
- 2 第7条の規定にかかわらず、収容定員は、2014年度から2016年度までの間、次のとおりとする。

学部	学科		収容定員	
<u>→</u> ਜ਼µ	子 符	2014年度	2015年度	2016年度
法学部	法学科	460名	440名	420名
経済学部	経済学科	460名	440名	430名
経営学部	経営学科	830名	830名	835名
	商学科	780名	730名	685名

附則

この学則は、2014年5月27日から施行する。 附 則

この学則は、2014年9月19日から施行する。 附 則

この学則は、2015年4月1日から施行する。 附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。ただし、第7条の3年次編入学定員については、2018年4月1日から実施し、2018年3月31日までは、なお、従前の例による。
- 2 第7条の規定にかかわらず、収容定員は、2016年度から2018年度までの間、次のとおりとする。

学部	学科		収容定員	
1 1p		2016年度	2017年度	2018年度
法学部	法学科	395名	350名	325名
経済学部	経済学科	400名	360名	370名
経営学部	経営学科	775名	720名	680名
経 呂 子 部	商学科	635名	540名	500名

附則

この学則は、2016年5月27日から施行し、2016年4月1日から適用する。 附 則

この学則は、2016年9月26日から施行し、2016年4月1日から適用する。 附 則

この学則は、2017年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2017年5月26日から施行し、2018年度入学者から適用する。ただし、留学生については、2019年度入学者から適用する。

附則

この学則は、2018年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2019年4月1日から施行する。

附則

この学則は、2019年5月31日から施行する。

附目

この学則は、2020年04月01日から施行する。ただし、第7条の改正は、2021年度入学者から適用する。

附則

この学則は、2020年04月01日から施行する。

附即

この学則は、2020年5月29日から施行し、2021年度入学者から適用する。 附 則

この学則は、2021年04月01日から施行する。

附則

この学則は、2021年06月01日から施行する。ただし第35条の規定は2022年度 入学者から適用する。 附 則

この学則は、2022年04月01日から施行する。

附則

この学則は、2022年06月01日から施行する。ただし第35条の規定は2023年度 入学者から適用する。

附則

この学則は、2023年4月1日から施行する。

(用紙 日本産業規格A4縦型)

			課		程		等		の		概	(州	要		<u> </u>	規格A4 概望
(法	学剖	『法学科)														
					単位数	ζ	授	業形!	_	:	専任参	対員等	の配置	Ī.		
科区	目 分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准数	講	助	助		備考
				修	択	由	義	習	· 実 習	授	教授	師	教	手		
専門	導入	法律学入門	1・2・3・4前	2								1				
斗	科目	小計(1科目)	_	2	0	0		_		0	0	1	0	0		
1	法学	法と論理 I (形式論理)	1・2・3・4前		2		0			1						
	子 類		1・2・3・4前		2		0			1						
		法と情報	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		法と言語I	1・2・3・4前		2		0			1						不開講
		法と言語Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1						不開講
		生命倫理と法	1・2・3・4後		2		0			1						隔年
		福祉と法Ⅰ	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
		福祉と法Ⅱ 競争政策と法	1·2·3·4 2·3·4前		2		0					1				不開講
		競争政策と法 雇用社会と法 I	2・3・4削		4 2		0					1			兼1	i !
		雇用社会と法Ⅱ	2・3・4制		2		0									不開講
		地方自治と法	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		国際社会と法Ⅰ	2·3·4前		2		0				1				VK.T	1 . ISO 044-
		国際社会と法Ⅱ	2・3・4後		2		0				1					
		国際社会と法Ⅲ	2・3・4前		2		0				1					
		国際社会と法IV	2・3・4後		2		0				1					
		判例講読	2・3・4前		2		0			1						
		日本法とその歴史 I	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		日本法とその歴史Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		大陸法とその歴史 I	2 • 3 • 4		2		0			1						! ! !
		大陸法とその歴史Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
		英米法とその歴史 I	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		英米法とその歴史Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		法哲学 I	2・3・4前		2		0					1				i ! !
		法哲学Ⅱ	2・3・4前		2		\circ					1				
		刑事政策	2・3・4前		2		0			1						
		警察と法	2・3・4後		2		0								兼1	
		法社会学 I	2 · 3 · 4		2		0									不開講
		法社会学Ⅱ	2 · 3 · 4		2		0									不開講
		政治学 I	2・3・4前		2		0									不開講
		政治学Ⅱ	2·3·4後		2		0									不開講
		国際政治学I	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		国際政治学Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		政治史	2・3・4後		2		0									隔年・不開講
		行政学I	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		行政学Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		憲法 I (統治1)	1・2・3・4前		2		0			1						! ! !
		憲法Ⅱ(統治2) 憲法Ⅲ(人権1)	1·2·3·4後 2·3·4前		2 2		0			1						
		憲法Ⅲ (人惟1) 憲法Ⅳ (人権2)	2·3·4削 2·3·4後		2		0			1 1						
		憲伝Ⅳ (八催2) 行政法Ⅰ (基本原理, 行政組織法)			2		0			1						
		行政法Ⅱ (行政作用法1)	2・3・4制		2		0			1						
		行政法Ⅲ(行政作用法2)	2・3・4版		2		0			1						
		行政法IV(行政救済法)	2・3・4制		2		0			1						
		税法I	2・3・4前		2		0			1					兼1	
		税法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
		税法Ⅲ	2・3・4前		2		0								兼1	i i i
		税法IV	2・3・4後		2		0								兼1	
		刑法 I (総論 1)	1・2・3・4前		2		0				1					
	l		1 • 2 • 3 • 4後		2		0				1					

				単位数	ζ	授	業形]	態]	専任参	対員等	の配置	<u> </u>		
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	1文末行 日の石が	此当千八								教		, ,	-		VHI →
			修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
	刑法Ⅲ(各論1)	2・3・4前		2		0				1					
	刑法IV(各論2)	2・3・4後		2		0				1					
	刑事訴訟法I	2·3·4前		2		0			1						
	刑事訴訟法Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
	現代刑事法	2 • 3 • 4前		2		0			1						
	民法概説	1・2・3・4前		2		0					1				
	民法総則	2・3・4後		2		0					1				
	物権総論 担保物権	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0					1				
	信権総論	2・3・4版		2		0					1 1				
	契約法	1・2・3・4後		2		0					1				
	不法行為法	2・3・4後		2		0					1				
	家族法Ⅰ	1・2・3・4前		2		0			1		1				
	家族法Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0			1						
	商法総則・商行為	2・3・4後		4		0					1				
	会社法概説	2・3・4後		2		0								兼1	
	会社法 I	2・3・4後		2		0								兼1	
	会社法Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1	
	金融商品取引法 I	2・3・4前		2		0								兼1	
	金融商品取引法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
	保険法	2 • 3 • 4		2		\circ									不開講
	民事訴訟法 I	2・3・4後		2		0								兼1	不開講
	民事訴訟法Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0								兼1	
	知的財産法 I	2 • 3 • 4		2		0								兼1	
	知的財産法Ⅱ	2 · 3 · 4前		2		0								7.11	隔年・不開講
	国際私法I	2·3·4前		2		0								兼1	
	国際私法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
	日本史概説 I	2・3・4前		2		0					1				教職コース生のみ
	日本史概説Ⅱ	2・3・4後		2		0					1			→ / - 1	教職コース生のみ
	外国史概説	1・2・3・4後		2		0			,					₹1	教職コース生のみ
	哲学概論 I 哲学概論 II	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0			1 1						教職コース生のみ 教職コース生のみ
	社会科教育法 I	2・3前		2		0			1						教職コース生のみ
	社会科教育法Ⅱ	2・3後		2		0									教職コース生のみ
	社会科・公民科教育法 I	3前		2		0									教職コース生のみ
	社会科・公民科教育法Ⅱ	3後		2		0									教職コース生のみ
	小計 (86科目)	-	0	176	0		_	l .	7	2	6	0	0	兼11	
特	法学特殊講義 I	1・2・3・4後		2		0									不開講
殊講	法学特殊講義Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
義	小計(2科目)	_	0	4	0		_		0	0	0	0	0		
外	外国書講読 I	2 • 3 • 4		2		0									不開講
書講	外国書講読Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
読	小計 (2科目)	_	0	4	0		_		0	0	0	0	0		
特別	特別演習 I	1後		2		0					1				
演	特別演習Ⅱ	2前		2		0					1				
習	小計 (2科目)	_	0	4	0		_		0	0	1	0	0		
基礎	基礎演習	2·3·4通	4				0		4	2	3				
演 習 研	小計(1科目)		4	0	0		_		4	2	3	0	0		
究演	研究演習	3~4通	8	0	0		_	<u> </u>	5	3	4	^	0		
経	小計(1科目)		8	0	0		_		5	2	4	0	0	美の	
済	ミクロ経済学	2・3・4前		2		0								兼2	
学	中級ミクロ経済学	2・3・4後		2		0								兼2	
類	マクロ経済学	2・3・4前		2		0								兼2	
	中級マクロ経済学	2・3・4後		2		0								兼2	
	経済統計論I	2・3・4前		2		0								兼1	
	経済統計論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
I I	国際経済学I	2・3・4前		2		0			II					兼1	

				単位数	ζ	授	業形!	態		専任教	員等	の配置	1	
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考
区分	(大大) [1] (大) [4]		修	択	由	義	習	主実	授	教授	師	教	手	ин · 3
1		0 0 1//	19		ш			習	1,0	,,	ни	**	,	A4.
	国際経済学Ⅱ 経済史概論Ⅰ	2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前		2 2		0								兼1 兼1
	経済史概論Ⅱ	1・2・3・4例		2		0								兼1
	西洋経済史 I	2・3・4前		2										兼1
	西洋経済史Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1
	産業組織論	2・3・4後		2		0								兼1 隔年
	経済政策	2・3・4版		2										兼1
	日本経済論 I	2・3・4削		2		0								兼1 隔年
	財政政策	2・3・4版		2										i i
	N 以 以 來 公 共 経 済 学					0								兼1 隔年・不開講 兼1 隔年・不開講
		2・3・4後		2		0								l i
	地方財政分析	3・4前		2		0								兼1 隔年
	地方財政論	3・4後		2		0								兼1 隔年
	金融論	1・2・3・4後		2		0								兼1
	金融政策	2・3・4前		2		0								兼1
	地域金融論	2・3・4後		2		0								兼1
	金融工学入門	2・3・4後		2		0								兼1
	国際金融論	3・4前		2		0								兼1
	開発金融論	3・4後		2		0								兼1
	金融リテラシー講座(応用編)	1・2・3・4後		2		0								兼3
	金融リテラシー講座(金融機関業務編)	1・2・3・4後		2		\circ								兼3
	データサイエンス入門 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
	データサイエンス入門Ⅱ	1・2・3・4後		2		\circ								兼1
	経済学	1・2・3・4後		2		\circ								兼2
	社会政策 I	2・3・4後		2		\circ								兼1
	社会政策Ⅱ	2・3・4前		2		\circ								兼1
	社会保障論 I	2・3・4前		2		\circ								兼1 隔年・不開講
	社会保障論Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1 隔年・不開講
	労働経済学 I	2・3・4前		2		\circ								兼1
	労働経済学Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1 不開講
	災害リスク管理の経済学	2 · 3 · 4前		2		\circ								兼1 集中
	地理学概説 I	1・2・3・4後		2		\circ								兼1 教職コース生のみ
	地理学概説Ⅱ	2·3·4前		2		0								兼1 教職コース生のみ
	地誌学	2·3·4後		2		0								兼1 教職コース生のみ
	倫理学概論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1 教職コース生のみ
	倫理学概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		\circ								兼1 教職コース生のみ
	小計 (42科目)	_	0	84	0		_		0	0	0	0	0	兼18
経	経営学I	2・3・4前		2		0								兼1
営	経営管理論 I	2・3・4前		2		\circ								兼1
	経営管理論Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1
	経営統計学 I	2・3・4前		2		\circ								兼1
	経営統計学Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1
	人的資源管理論	2・3・4後		2		\circ								兼1
	コーポレート・ファイナンス	2 • 3 • 4前		2		0								兼1
	岡山経営者論Ⅱ	1・2・3・4後		2		\circ								兼2
	情報処理概論 I	1・2・3・4前		2		0								兼3
	情報処理概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼2
	情報社会と情報倫理	1・2・3・4後		2		0								兼1
	情報と職業	1・2・3・4前		2		0								兼1
	簿記論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
	簿記論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
	簿記論Ⅲ	1・2・3・4前		2		0								兼1
	簿記論IV	1・2・3・4後		2		0								兼1
	会計学	2・3・4後		2		0								兼1
1 1	AHT	1 0 tix		<i>-</i>	l			ı	II .		l		I	AIV+

					単位数	ţ	授	美業形!	態		専任参	女員等	の配置	1	
科		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考
区	分	及未行首の右が	HL J T IX	修	択	由	義	習	実	授	教授	師	教	手	a
				115	1)(П	我	自	習	1文	1又	ווים	叙	十	
		財務諸表論I	2·3·4前		2		0								兼1
		財務諸表論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1
		経営分析論	2・3・4前		2		0								兼1 隔年・不開講
		意思決定会計論	2・3・4前		2		0								兼1
		税理士による租税講座	2・3・4前		2		0								兼1
		アカデミック・ライティング 小計 (23科目)	1・2・3・4前	0	1 45	0	0	_		0	0	0	0	0	兼15
	商	<u> </u>	 1・2・3・4前	0	2	U	0			0	0	U	U	0	兼1
	学	ビジネス概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
	類	マーケティング論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
		マーケティング論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
		消費者行動論	3・4前		2		0								兼1
		保険論	3・4後		2		0								兼1
		証券市場論 I	2・3・4前		2		0								兼1
		証券市場論Ⅱ	2·3·4後		2		0								兼1
		ビジネス英会話 I	2・3・4前		2		0								兼1 不開講
		ビジネス英会話Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1
		市場調査論	3 • 4前		2		0								兼1
		ライフプランニングと資金計画・リスク管理 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
		金融資産運用・不動産 I	1・2・3・4後		2		0								兼1
		タックスプランニング、相続・事業承継	1・2・3・4前		2		0								兼1
		タックスプランニング	2・3・4前		2		0								兼1
		金融資産用設計Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1
		不動産運用設計Ⅱ	2・3・4前		2		\circ								兼1
		FP技能論 I	2・3・4前		2		0								兼1
		F P技能論Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1
		ポートフォリオ・マネジメント	2・3・4後		2		\circ								兼1
		リーガル&コンプライアンス	2・3・4後		2		\circ								兼1
		運用設計企画 I	2・3・4前		2		\circ								兼1
		運用設計企画Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1
		観光振興論特殊講義	2・3・4後		2		0								兼2
	41.	小計 (24科目)	_	0	48	0		_		0	0	0	0	0	兼11
	特別	日本語特別演習 I	3・4前		1		0								兼1
	演	日本語特別演習Ⅱ	3・4後		1		0								兼1
	習	金融特別演習I	2・3・4後		2		0								兼2
	特	小計 (3科目)		0	4	0		_		0	0	0	0	0	兼3
	別単位	インターンシップ学習講座 実践学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				0						特別単位認定科目 特別単位認定科目
	位認定科目	実践学習講座 小計(2科目)	1・2・3・4前・後	0	1~8 1~8	0		_	U	0	0	0	0	0	付別平位総化件日
に	イ	インターンシップ 1	1 • 2 • 3 • 4	,	2	,			0	1	J	J	,	-	未開講
す	ン タ	インターンシップ 2	1・2・3・4後		2				0	1					兼2
る 科	レン	インターンシップ 3	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1 未開講
目	シッ	インターンシップ 4	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1 未開講
	プ	小計 (4科目)	_	0	8	0		_		1	0	0	0	0	兼4
	教養	教養演習	1・2通	4				0		3	0	3	0	0	
般教		小計(1科目)	_	4	0	0		-		3	0	3	0	0	
育		法学 I	1・2・3・4前		2		0			1					
科目	. 専	法学Ⅱ(日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2		0					1			
Н	門	政治学入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0								不開講
	⟨±	政治学入門Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								不開講
	科	経済学入門 新聞 なきまる	1・2・3・4前		2		0								兼2
	11	新聞を読む 岡山経営者論 I	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2 2		0								兼1 兼2
		四川経呂石論I 現代ビジネス事情	1・2・3・4削		2		0								兼1
1	I	2017 - 4 (1.5) # 1B	1 2 0 T/Q	I	'				ı İ	ll .		l			VIV.

					単位数	ζ	授	業形]	_		専任教	女員等	の配置	<u> </u>		
科目		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分				修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		
		商業・流通とマーケティング	1・2・3・4後		2		0		習						兼1	
		企業論 I	1・2・3・4前		2		0								兼2	
		教職論	1・2・3後		2		\circ								兼1	教職コース生のみ
		小計 (11科目)	_	0	22	0		_		1	1	1	0	0	兼12	
		西洋史 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	
-	_	西洋史Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1	
	10	東南アジアの歴史と社会	1・2・3・4後		2		0								i i	隔年・不開講
	521:	外国文学 I 外国文学 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2		0								兼1	
	抖	介国又子Ⅱ 日本語学	1・2・3・4版		2		0								兼1 姜 1	隔年・不開講
	Н.	日本語表現	1 • 2 • 3 • 4		2		0								兼1	
1		芸術I	1・2・3・4前		2		0								兼1	1113
		芸術Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1	
		芸術Ⅲ	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		芸術IV	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1	
		科学と哲学	1・2・3・4前		2		\circ			1						
		災害と経済	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		数学と経営	1・2・3・4前		2		0								兼1	不開講
		博物館概論	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		博物館経営論	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		博物館資料論	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		博物館資料保存論 博物館展示論	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2		0								兼1	
		博物館教育論	1・2・3・4削		2		0								兼1 兼1	
		博物館情報・メディア論	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		博物館実習	3・4通		3				0						兼1	
		考古学 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		考古学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		民俗学 I	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		民俗学Ⅱ	1・2・3・5後		3		0								兼1	
		日本事情 I	1・2・3・4前		2		0									留学生のみ
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								!	留学生のみ
		教育原理	1・2・3前		2		0									牧職コース生のみ
		教育史	2・3前		2		0									牧職コース生のみ
	ŀ	教育社会学 小計 (31科目)	3前	0	2	0	0			1	0	0	0	0	1	牧職コース生のみ
3 3	3		 1・2・3・4後	U	64	U	0			1	0	0	0	0	兼13	集中・不開講
. .	.		1・2・3・4後		2		0								1	集中・不開講
1.	1	人間形成論・職業形成論	1 • 2 • 3 • 4前		2		0			1					AINT	ACT TOURT
	1	法を考える	1・2・3・4前		2		0			1		1				
育規	共産	政治を考える	1・2・3・4後		2		0			1						
	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	医学・医療を考える	1・2・3・4前		2		0			1						
		技術と経営	1・2・3・4前		2		0								兼1	
群系	⊟	公共の倫理学	1・2・3・4後		2		0			1						
	詳	こころの哲学	1・2・3・4後		2		0			1						
		現代数学への招待A(無限と連続)	1・2・3・4後		2		0								I	隔年・不開講
		使える数学A(線形代数)	1 • 2 • 3 • 4前		2		0								兼1	原压, 了眼锥
		使える数学B(微分と積分) 思考の論理的形式 I	1 · 2 · 3 · 4 1 · 2 · 3 · 4前		2 2		0			1						隔年・不開講 隔年
		思考の論理的形式 I 思考の論理的形式 II	1・2・3・4削		2		0			1 1					1 1	^{隔午} 隔年・不開講
		コンピュータ処理 I	1・2・3・4前・後		2		0			1					1 1	不開講
		コンピュータ処理Ⅱ	1・2・3・4後		2		0									不開講
		こころの科学	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		適応の心理学	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		金融リテラシー講座(基礎編)	1・2・3・4前		2		0								兼3	
		岡山講座	1·2·3·4後		2		0			I	l		Ī		兼1	
							_									

				単位数	ζ	授	業形	_		専任教	対員等	の配置	Ĭ.		
料目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
/ 3			修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		
	データ分析	1・2・3・4前・後	2			0		習	\vdash					兼1	
	キャリア形成論	2・3・4後	2			0					1			兼4	
	入門数学1	1 · 2 · 3 · 4前		2		0					_				指定学生のみ・不
	入門数学 2	1·2·3·4後		2		0									指定学生のみ・不
	教育心理学 I	3前		2		0									教職コース生のみ
	教育心理学Ⅱ	3後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	教育課程論	2・3後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	小計 (29科目)	_	4	54	0		_		3	0	1	0	0	兼17	
3	英語コミュニケーション 初級 I	2·3·4前		1				0						兼3	
2	英語コミュニケーション 初級Ⅱ	2・3・4後		1				0						兼3	
2 7	英語コミュニケーション I	1・2・3・4前・後		1				0						兼3	
3	英語コミュニケーションⅡ	1・2・3・4前・後		1				0						兼2	
ュニ	英語コミュニケーションⅢ	2・3・4前		1				0						兼3	
ケ	英語コミュニケーションIV	2・3・4後		1				0						兼3	
1	英語コミュニケーション(TOEIC) I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
ショ	英語コミュニケーション(TOEIC)Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0						兼1	
ン	英語コミュニケーション 上級 I	1 • 2 • 3 • 4		1				0							不開講
科	英語コミュニケーション 上級Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0							不開講
目群	英語コミュニケーション(TOEIC)上級 I	1・2・3・4後		1				0							不開講
41+	英語コミュニケーション(TOEIC)上級Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4		1				0							不開講
	総合英語 I	1 · 2 · 3 · 4		1				0						兼1	集中
	総合英語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2				0						兼1	集中
	初級ドイツ語 I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
	初級ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1				0						兼1	
	初級中国語 I	1・2・3・4前		1				0						兼2	
	初級中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1				0						兼2	
	中級中国語I	2·3·4前・後		1				0							孔子学院
	中級中国語Ⅱ	2・3・4前・後		1				0							孔子学院
	上級中国語I	2・3・4前・後		1				0							孔子学院
	上級中国語Ⅱ	2・3・4前・後		1				0							孔子学院
	総合中国語I	1・2・3・4前・後		1				0							集中
	総合中国語Ⅱ 	1・2・3・4前・後		2				0							集中
	初級ハングル I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
	初級ハングルⅡ	1・2・3・4後		2				0						兼1	
	総合ハングルⅠ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	総合ハングルII	2・3・4後		1				0							不開講
		1・2・3・4前		1				0							指定学生のみ・不
	入門「読む」「書く」日本語 2 入門英語 1	1・2・3・4後		1				0							指定学生のみ・不 指定学生のみ・不
	入門央語 1 入門英語 2	1·2·3·4前 1·2·3·4後		1 1				0	I						指定学生のみ・不 指定学生のみ・不
	上級日本語 I	2・3・4前		1				0						l i	留学生のみ・不同
	上級日本語 II	2・3・4削 2・3・4後													留字生のみ 留学生のみ
Acto				1				0							田子土いか
特設	1 1 11 (2012)	1・2・3・4前・後		1				0	I					兼1	
SHE	日本語(文法)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0	I					兼1	
業科	日本語(文法)Ⅲ	1・2・3・4前・後		1				0	I					兼1	
	日本語(文法)IV	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	口木語 (立字、語彙)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
留	i e	1・2・3・4前・後							I						
生	日本語(聴解)I			1				0	I					兼1	
に	□日本語(腮解)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0	I					兼1	
	日本語(読解) I	1・2・3・4前・後		1				0	I					兼1	
川川	日本語(読解) Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	日本語(会話)	1・2・3・4前		1				0	I					兼1	
	日本語(作文)	1・2・3・4前		1				0	I					兼1	
1 1	日本語演習(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				\cup	ll .			l	l	兼1	

						単位数	ţ	授	業形!	態	:	専任参	対員等	の配置	1		
	4		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	誰	助	助		備考
	<u> </u>	分	[大米打百·22百孙			+=			-	•		· 教 授	師				V. and
					修	択	由	義	習	実習	授	攵	테	教	手		
			総合日本語演習 I (日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
			総合日本語演習 II (日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				\circ						兼1	
	L		小計 (48科目)		0	51	0		_		0	0	0	0	0	兼10	
		3	UNIVAS 1	1・2・3・4前		1				0			1			兼2	
		3	UNIVAS 2	1・2・3・4後		1				\circ			1			兼2	
		心と	UNIVAS 3	2・3・4前・後		1				0			1			兼2	
		体の	UNIVAS 4	2・3・4後		1				0			1			兼2	集中
		健	UNIVAS 5	2・3・4後		1				0			1				集中
		康科	特別支援教育概論	2・3後		2		0		0			-			兼1	<i></i>
		目群	小計 (6科目)	- OK	0	7	0		_		0	0	1	0	0	兼2	
	†	89 91	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後	0	2~8	Ů			0		Ů	-	0	0	+	特別単位認定科目
		位 総	実践学習講座	1·2·3·4前·後		1~8				0							特別単位認定科目
		定 科 日	小計 (2科目)	_	0	1~8	0		_		0	0	0	0	0	兼	14744
	教		教職論	1・2・3後		2		0								兼1	再掲
	職に		教育原理	1・2・3前		2		\circ								兼1	再掲
	に関		教育史	2・3前		2		\circ								兼1	再掲
	す	•	教育心理学 I	3前		2		\circ								兼1	再掲
	る科		教育心理学Ⅱ	3・4後		2		\circ								兼1	再掲
	目		教育社会学	3前		2		\circ								兼1	再掲
			教育課程論	2・3後		2		\circ								兼1	再掲
			社会科教育法 I	2・3前		2		\circ					1				再掲
			社会科教育法Ⅱ	2・3後		2		\circ					1				再掲
			社会科・公民科教育法 I	3前		2		\circ					1				再掲
			社会科·公民科教育法Ⅱ	3後		2		0					1				再掲
			道徳教育の理論と方法	3前		2		0								兼1	
			特別支援教育概論	2・3後		2		0								兼1	再掲
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前		2		0								兼1	
			教育方法論	2・3後		2		0								兼1	
			教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0									再掲
			生徒・進路指導の理論と方法	3後		2		0								兼1	
			教育相談	2・3前		2		0								兼1	
			教職実践演習(中・高)	4後		2				0			1			兼5	オムニバス
			教育実習指導	3後		1				0			1				
			教育実習I	4前		2				0			1				
			教育実習Ⅱ	4前		2				0			1				
			小計 (22科目)	_	0	43	0		_		0	0	1	0	0	兼7	
			合計 (328科目)	_	22	600	0		_		7	2	6	0	0	兼79	
		学	位又は称号 学士(法学)		学	位又位	は学科	斗の分	·野	法学	関係				<u> </u>		
H			卒業要件及び	履修	方	法							授	業期	間等		
			88単位・一般教育科目25単位・-	一般教育科	目及で	が専門]	L 学年	三の学	期区					2期
			位の計124単位以上を修得するこ					艮:1			明の授						15週
$1^{\sim 3}$	4	-火	:1学期で16単位以上24単位以下。	4平次:48	単位.	从下。	,)				の授		-				90分
									_	r H4协	くいけ文	未吁[ĦĴ				90万

				単位数	Ţ	授	業形	態		専任教	員等	の配置	<u> </u>	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考

(用紙 日本産業規格A4縦型)

(m + w !-:	教 育	課		程		等		0)		概		要			
(経済学部経	经济学科)			単位数	ζ	授	業形	態		専任教	数員等(の配置	İ		
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分			修	択	由	義	習	· 実 習	授	教 授	師	教	手		
享 経 経済	学基礎	3・4前		2		0		首	1						
月 済 ミク	口経済学	2・3・4前	2			0			1		1				
類 中級	ミクロ経済学	2・3・4後		2		0			1		1				! !
マク	口経済学	2・3・4前	2			0			1	1					
中級	マクロ経済学	2・3・4後		2		0			1	1					
経済	成長論 I	3・4前		2		0				1					
国際	系経済学 I	2・3・4前		2		0				1]
国際	経済学Ⅱ	2 · 3 · 4後		2		0				1					
	史概論 I	1・2・3・4前		2		0			I		1				-
	史概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			I		1				
	経済史I	2·3·4前		2		0			I		1				
	:経済史Ⅱ	2・3・4後		2		0			I		1				
	経済史 I	2・3・4前		2		0			I					兼1	į
1	経済史Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	n (
	組織論	2・3・4後		2		0			I		1				隔年
	政策	2・3・4前		2		0			1						
	経済政策	3・4前		2		0			1						隔年・不開講
	ア経済分析	3・4後		2		0				1					隔年
	政策	3・4後		2		0				1					隔年・不開講
	経済論 I	2・3・4後		2		0			1						
1	政策	2・3・4前		2		0			1						
	資源論	2・3・4後		2		0			1						原长
	経済分析	3・4前		2		0			1		,				隔年
	:政策 :経済学	2・3・4前		2		0					1				隔年・不開講 隔年・不開講
	: 財政分析	2・3・4後 3・4前		2		0				1	1				隔午・小用語 隔年
	対政論	3・4後		2		0				1					隔年
金融		1・2・3・4後		2		0				1	1				MAS - I
	政策	2・3・4前		2		0				1	1				•
	金融論	2・3・4後		2		0				-	1				
-	工学入門	2・3・4前		2		Ö					1				
	金融論	3・4前		2		0			1						
	金融論	3・4後		2		0			1						
	リテラシー講座(応用編)	1·2·3·4後		2		0				1	1			兼1	
	リテラシー講座(金融機関業務編)	2・3・4後		2		Ō			I		1			兼1	1
産業	連関分析	2・3・4後		2		0			1						
デー	·タサイエンス入門 I	1・2・3・4前		2		0			1						
デー	・タサイエンス入門Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1						
統計	プログラミング入門	1・2・3・4前		2		0			I	1					İ
	・プログラミング	1・2・3・4後		2		0			I	1					
経済	統計論I	2・3・4前		2		0			1						
	統計論Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
	経済学	2・3・4後		2		0			1						•
経済		1・2・3・4後	2			0			I		2				
	数学	1・2・3・4後		2		0			I	1					不開講
	経済数学	1・2・3・4前		2		0			I		1				n
	・ム理論	3・4前		2		0			I		1				隔年・不開講
	経済学	3・4後		2		0					1				隔年
	ルデータ分析	3・4後		2		0					1				
	政策 I	2・3・4後		2		0			I	1					
	政策Ⅱ	2・3・4前		2		0			I	1					n
	保障論 I	3・4前		2		0				1					隔年・不開講
社会	保障論Ⅱ	3・4後		2		\circ			l)	1	l			l	隔年・不開講

			単位数		授	受業形	態		専任教	女員等(の配置	L .			
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	及米田 自 2-1-10·	HE I T IX	修	択	由	義	習	主実	授		師	教	手		. У С тич
	业图如本类 1	0 0 4/4						習			. ,				i
	労働経済学 I	2・3・4後		2		0			1						7 *88≑#
	労働経済学Ⅱ ヘルスデータ分析	2·3·4後 2·3·4後		2		0			1	,					不開講 隔年・不開講
	農業経済論	2・3・4後		2 2		0			1	1					柄牛・小用神
	農業政策	2・3・4例		2		0			1 1						
	時系列データ解析	2・3・4版		2		0			1		1				
	経済シミュレーションⅠ	2・3・4後		2		0					1				
	フィナンシャルエコノメトリクス	3・4後		2		0					1				
	数学演習	1・2・3・4前	2	_		0				2	3				
	経済学演習	1 • 2 • 3 • 4後	2			0			2	1	2				
	ERE演習	2・3・4前	_	2		O					1				
	災害リスク管理の経済学	2 • 3 • 4		2		Ö					_			兼1	集中
	地理学概説 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼1	教職コース生のみ
	地理学概説Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	地誌学	2・3・4前		2		0								兼1	教職コース生のみ
	倫理学概論 I	1 • 2 • 3 • 4前		2		0								兼1	教職コース生のみ
	倫理学概論Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	小計 (70科目)	_	10	130	0		_		6	4	5	0	0	兼5	
朱		2・3・4前・後		2		0			3	1	3				
別		2・3・4前		2		0				1	1				
習		_	0	4	0		_		3	2	4	0	0	兼0	
基礎		2・3・4前	2				0		2	3	1				
演習	小計(1科目)	_	2	0	0		_		2	3	1	0	0	兼0	
矽		2前・3・4通	10				0		2	4	5				
9 海		3・4通		8			0		2	4	5				
翟		_	10	8	0		_		2	3	5	0	0	兼0	
商		1・2・3・4前		2		0								兼1	
学		1・2・3・4後		2		0								兼1	
	流通システム論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	隔年
	流通システム論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	隔年
	貿易実務論 I	3・4前		2		0								兼1	
	貿易実務論Ⅱ	3・4後		2		0								兼1	
	市場調査論	3・4前		2		0			1						
	社会調査実践	3・4通		2		0								兼1	
	証券市場論 I	2・3・4前		2		0								兼1	
	証券市場論Ⅱ	2·3·4後		2		0								兼1	
	ビジネス英会話 I	2·3·4前		2		0								兼1	不開講
	ビジネス英会話Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	1 10 10 10 10
	ライフプランニングと資金計画・リスク管理 I			2		0								兼1	
	金融資産運用·不動産 I	1·2·3·4後		2		0								兼1	
	タックスプランニング、相続・事業承継	1・2・3・4前		2		0								兼1	
	タックスプランニング、 ^{柏杭・事業承融}	2・3・4前		2		0			I					兼1	
	·					_			I						
	FPタックス・相続プランニング PP 全軸次音・不動音楽用記書	2・3・4後		2		0			I					兼1	
	FP金融資産·不動産運用設計	2・3・4後		2		0								兼2	
	相続・事業承継	2・3・4前		2		0			I					兼1	
	FPリスク・リタイアメントプランニング	2・3・4前		2		0			I					兼1	
	ライフプランニングと資金計画Ⅱ	2・3・4前		2		0			I					兼1	
	リスク管理Ⅱ	2・3・4後		2		0			I					兼1	
	金融資産運用設計Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1	
	不動産運用設計Ⅱ	2•3•4前		2		0			I					兼1	
	FP技能論 I	2 • 3 • 4前		2		0			I					兼1	
	F P技能論Ⅱ	2・3・4後		2		0			I					兼1	
	F P提案書概論 I	2・3・4前		2		0			I					兼1	隔年・不開講
	F P提案書概論Ⅱ	2・3・4後		2		0			I					兼1	隔年・不開講
	ポートフォリオ・マネジメント	2•3•4前		2		0			I					兼1	
	リーガル&コンプライアンス	2・3・4前		2		0			I					兼2	
1 1	1, ,,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	= 0 Inj	ı	ı -	l		•	. !	ı	ı				/11/4	! !

			単位数			授業形態			<u> </u>	导仕教	X貝等	の配置			
目八	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准	講	助	助		備考
分			修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		新
	不動産運用設計論	2 · 3 · 4後		2		0		習						兼1	隔年・不開
	運用設計企画 I	2・3・4前		2		0									1
	運用設計企画Ⅱ	2・3・4後		2		0									
	小計 (33科目)	-	0	66	0		_	ı	1	0	0	0	0	兼9	1113
経	経営学I	2・3・4前・後		2		0								兼1	
営	リスクマネジメント論	2・3・4前		2		0								兼1	İ
学類	国際経営論 I	2・3・4前		2		0								兼1	
	経営統計学 I	2・3・4前		2		0								兼1	İ
	経営統計学Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
	岡山経営者論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	•
	人的資源管理論	2・3・4後		2		0								兼1	İ
	経営戦略論	2・3・4前		2		0								兼1	
	コーポレート・ファイナンス	2・3・4前		2		0								兼1	
	アカデミック・ライティング	1・2・3・4前		1		0								兼1	i
	小計 (10科目)	_	0	19	0		_		0	0	0	0	0	兼8	
経	データーベース論	2・3・4前		2		0								兼1	
営情	データベース実践	2・3・4後		2		0								兼1	<u> </u>
報	応用情報処理 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	•
学	プログラミングVB	2・3・4後		2		0								兼1	
字 類	情報システム技術	1・2・3・4前		2		0								兼1	
	情報システム論	2・3・4後		2		0				1					!
	情報と職業	1・2・3・4前		2		0				1					
	W e bデザイン	2・3・4後		2		0								兼1	
	W e bプログラミング	2・3・4後		2		0								兼1	<u> </u>
	情報技術論Ⅱ	2 • 3 • 4前		2		0								兼1	İ
	情報社会と情報倫理	1・2・3・4後		2		0								兼1	
	小計 (11科目)	_	0	22	0		_		0	0	1	0	0	兼5	
会司	簿記論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	İ
計学	簿記論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	i
類	簿記論Ⅲ	1・2・3・4前		2		0								兼1	
	簿記論IV	1・2・3・4後		2		0								兼1	İ
	会計学	2・3・4後		2		0								兼1	
	財務諸表論I	2・3・4後		2		0								兼1	
	財務諸表論Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1	İ
	経営分析論	3・4前		2		0								兼1	隔年・不開
	意思決定会計論	3 • 4前		2		0								兼1	隔年
	税理士による租税講座	2・3・4前		2		0								兼1	
N.L.	小計 (10科目)	-	0	20	0		_	1	0	0	0	0	0	兼5	fi 1 1 1 1 1 1 1 1 1
法学	金融商品取引法 I	2・3・4前		2		0								兼1	<u> </u>
類	金融商品取引法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
	会社法概説	2・3・4後		2		0								兼1	
	会社法I	2・3・4後		2		0								兼1	
	会社法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	į
	物権総論	2・3・4前		2		0								兼1	
	担保物権	2・3・4後		2		0								兼1	
	債権総論	2 • 3 • 4前		2		0								兼1	
	法人税法	2 • 3 • 4		2		0									Į.
	法と言語I	1・2・3・4前		2		0									!
	法と言語Ⅱ	1・2・3・4後		2		0									不開講
	警察と法	2・3・4後		2		0								兼1	
	生命倫理と法	2・3・4後		2		0								兼1	İ
	福祉と法I	1 • 2 • 3 • 4		2		0									!
	福祉と法Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0			ll .						不開講
	雇用社会と法 I	2 • 3 • 4前													•

					単位数	(授業形態				専任教	效員等	の配置			
科		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区	分	JONNIE WEN		松	+0		羊	য়য়	•	455	教 授	óæ:	#4+	工		VIII 3
				修	択	田	義	習	実習	授	1文	師	教	手		
		雇用社会と法Ⅱ	2·3·4後		2		0								兼1	不開講
		国際社会と法 I	2・3・4前		2		0								兼1	! !
		国際社会と法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	i i !
		憲法 I (統治1)	1・2・3・4前		2		0								兼1	! !
		憲法Ⅱ(統治2)	1・2・3・4後		2		0								兼1	i ! !
		憲法Ⅲ(人権1)	2・3・4前		2		0								兼1	隔年
		憲法IV (人権2)	2·3·4後		2		0								兼1	
		行政法I(基本原理,行政組織法)	2・3・4前		2		0								兼1	!
		行政法Ⅱ(行政作用法Ⅰ)	2·3·4後		2		0								兼1	
		民法概説	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		民法総則	2·3·4後		2		0								兼1	
		商法総則・商行為	2·3·4後		4		0								兼1	
		法と情報	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		刑法 I (総論1)	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		刑法Ⅱ(総論2)	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		政治学I	2 • 3 • 4		2		0								7.11	不開講
		政治学Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		日本史概説 I	2・3・4前		2		0									教職コース生のみ
		日本史概説Ⅱ	2·3·4後		2		0								/114-	教職コース生のみ
		外国史概説	1・2・3・4後		2		0								7.11	隔年・教職コース生のみ
		哲学概論I	2·3·4前		2		0									教職コース生のみ
		哲学概論Ⅱ	2·3·4後		2		0								7.11	教職コース生のみ
		法律学入門	1・2・3・4前		2		0									教職コース生のみ
		社会科教育法 I	2・3前		2		0									教職コース生のみ
		社会科教育法Ⅱ	2.3後		2		0								7111	教職コース生のみ
		社会科・公民科教育法Ⅰ	3前		2		0									教職コース生のみ
		社会科·公民科教育法Ⅱ	3後	_	2		0				_		_	_		教職コース生のみ
	特	小計(43科目) 日本語基礎演習 I	2 . 4**	0	88	0		_		0	0	0	0	0	兼19	! !
	別日		3・4前		1		0				1					
	侠	日本語基礎演習Ⅱ	3・4後		1		0				1				₩1	! ! !
	習	日本語特別演習 I	3・4前		1		0								兼1	
		日本語特別演習Ⅱ 小計(4科目)	3・4後	0	4	0	0			0	1	0	0	0	兼1	
	59	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後	0	4 2~8	0			0	0	1	0	0	0	兼1	特別単位認定科目
	101	実践学習講座	1・2・3・4前・後		1~8				0							特別単位認定科目
	定	小計 (2科目)	_	0	1~8	0		_	0							TOWN PLANT OF THE
7.	1	インターンシップ 1	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1	未開講
関す	タ	インターンシップ 2	1・2・3・4後		2				0		1	1				
る 科	ン	インターンシップ 3	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1	未開講
目	シッ	インターンシップ 4	1 • 2 • 3 • 4		2				0							未開講
	プ	小計(4科目)	_	0	8	0		_		0	1	1	0	0	3	
	教養	教養演習	1・2通	4				0			3	3				
般教育科	300	小計(1科目)	_	4	0	0		_			3	3				
育		法学 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		法学Ⅱ(日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2		0								兼1	! !
目	門	政治学入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
	结	政治学入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
	科	経済学入門	1・2・3・4前	2			0					2				į
	目	新聞を読む	1・2・3・4前		2		0								兼1	<u> </u>
		岡山経営者論Ⅰ	1・2・3・4前		2		0								兼3	
		現代ビジネス事情	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		商業・流通とマーケティング 企業論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2		0								兼1 兼2	
		並果論Ⅰ 教職論	1・2・3・4則		2		0									教職コース生のみ
		教職調 小計 (11科目)	1 · 2 · 31友	2	20	0	\cup	_		0	0	2	0	0	兼10	
		<1.HI (114☐ □ /	_	4	40	U	<u> </u>			U	U	۷	V	U	水10	!

					単位数	(授	受業形	態		専任教	数員等	の配置	L		
	.目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
X	分	1文米行 ロジ右が	此コ干八		択			習	•		教授					Cere HIV
				修	坎	由	義	首	実習	授	攵	師	教	手		
	2	西洋史 I	1・2・3・4前		2		0					1				
	·	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後		2		0					1				
	般	東南アジアの歴史と社会	1・2・3・4後		2		0				1				37	隔年・不開講
	知識	外国文学 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	•
	科	外国文学Ⅱ 日本語学	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2		0 0								兼1 	隔年
	目群	日本語表現	1 • 2 • 3 • 4		2		0									隔年
	44	芸術 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0					1			NK1	MAS -T-
		芸術Ⅱ	1·2·3·4後		2		0					1				
		芸術Ⅲ	1 • 2 • 3 • 4前		2		0					1				
		芸術IV	1・2・3・4後		2		0					1				
		科学と哲学	1・2・3・4前		2		0								兼1	•
		災害と経済	1 • 2 • 3 • 4		2		0								兼1	集中
		数学と経営	1・2・3・4前		2		0								兼1	不開講
		博物館概論	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		博物館経営論	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		博物館資料論	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		博物館資料保存論	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		博物館展示論 博物館教育論	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2		0 0								兼1 兼1	
		博物館情報・メディア論	1・2・3・4後		2		0								兼1	į
		博物館実習	3・4通		3)		0						兼1	
		考古学 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼1	į
		考古学Ⅱ	1·2·3·4後		2		0								兼1	
		民俗学 I	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		民俗学Ⅱ	1・2・3・5後		3		0								兼1	i ! !
		日本事情 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	留学生のみ
		日本事情Ⅱ	1・2・3・5後		2		0									留学生のみ
		教育原理	1・2・3前		2		0									教職コース生のみ
		教育史	2・3前		2		0								兼	教職コース生のみ
		教育社会学	3・4前		2		0								兼1	教職コース生のみ
۱ ـ		小計 (31科目)	_	0	64	0		_		0	1	2	0	0	兼11	
3	3		1・2・3・4後		2		0									集中・不開講
社		アクティブラーニング社会学展開編			2		0								26.	集中・不開講
会力	全学		1・2・3・4前		2		0								兼1	
育	++-	法を考える 政治を考える	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2		0 0								兼1 兼1	•
成	迪	医学・医療を考える	1・2・3・4前		2		0								兼1	
科目	AH.	技術と経営	1・2・3・4前		2		0								兼1	•
群	科	公共の倫理学	1・2・3・4後		2		0								兼1	
	目群	こころの哲学	1・2・3・4後		2		0								兼1	•
		現代数学への招待A(無限と連続)	1・2・3・4後		2		0								兼1	隔年・不開講
		使える数学A(線形代数)	1・2・3・4前		2		0								兼1	•
		使える数学B(微分と積分)	1 • 2 • 3 • 4		2		0									隔年
		思考の論理的形式Ⅰ	1・2・3・4前		2		0									隔年
		思考の論理的形式Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			I						隔年・不開講
		コンピュータ処理Ⅰ	1・2・3・4前・後		2		0									不開講
		コンピュータ処理Ⅱ こころの科学	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2		0 0			1					飛Ⅰ	不開講
		適応の心理学	1・2・3・4削		2		0			1 1						!
		金融リテラシー講座(基礎編)	1・2・3・4版		2		0			1	1	2				•
		岡山講座	1 • 2 • 3 • 4前		2		0				*	-			兼1	Į
		生涯学習概論	1・2・3・4後		2		0			I					兼1	
		データ分析	1・2・3・4前・後	2			0			I					兼4	İ
		キャリア形成論	2・3・4後	2			0					1			兼4	•
		入門数学1	1・2・3・4前		2		0									指定学生のみ・不開講
		入門数学2	1・2・3・4後		2		0									指定学生のみ・不開講

				単位数		授	受業形	態		専任教	效員等	の配置	L.		
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考	
区分	1X未行 L V 4 / 1/1	配当干风	修修	択	由	義	習	美	授	教授	師	教	手	er ⊞N	
	lat -la 2 am Nt -		115		Щ		н	習		1X	Нıh	40	7	I se est	
	教育心理学 I	3前		2		0			1					教職コース生の	
	教育心理学Ⅱ 教育課程論	3・4後 2・3後		2 2		0			1					教職コース生の 兼1 教職コース生の	
	教育におけるICT活用	2・3後 1・2・3後		2		0								兼1 教職コース生の	
	小計 (29科目)	1 2 3 K	4	54	0		_	l .	1	1	3	0	0	兼15	0)-
3	英語コミュニケーション 初級 I	1 · 2 · 3 · 4前		1				0		-	1	Ů		兼2	\neg
	英語コミュニケーション 初級Ⅱ	1・2・3・4後		1				0			1			兼2	
2	英語コミュニケーション I	1・2・3・4前・後		1				0			1			兼2	
3	英語コミュニケーションⅡ	1・2・3・4前・後		1				0			1			兼1	
ュニ	英語コミュニケーションⅢ	2・3・4前		1				0			1			兼2	
ケケ	英語コミュニケーションIV	2・3・4後		1				0			1			兼2	
1	英語コミュニケーション(TOEIC) I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
ショ	英語コミュニケーション(TOEIC)Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0							
レン	英語コミュニケーション 上級 I	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講	
科 目	英語コミュニケーション 上級Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講	
群	英語コミュニケーション(TOEIC)上級 I	1・2・3・4後		1				0						兼1 不開講	
	英語コミュニケーション (TOEIC) 上級Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講	
	総合英語I	1 • 2 • 3 • 4		1				0						集中	
	総合英語 II 初級ドイツ語 I	1·2·3·4前·後 1·2·3·4前		2				0						兼1 集中 兼1	
	初級ドイン語Ⅰ	1・2・3・4削		1				0						兼1	
	初級中国語Ⅰ	1・2・3・4版		1				0		1				兼1	
	初級中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1				0		1				兼1	
	中級中国語I	2・3・4前・後		1				0		1				兼2 孔子学院	
	中級中国語Ⅱ	2・3・4前・後		1				0		1				兼2 孔子学院	
	上級中国語 I	2・3・4前・後		1				0		1				兼2 孔子学院	
	上級中国語Ⅱ	2・3・4前・後		1				0		1				兼2 孔子学院	
	総合中国語 I	1・2・3・4前・後		1				0						兼1 集中	
	総合中国語 Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1 集中	
	初級ハングル I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
	初級ハングルⅡ	1・2・3・4後		1				0						兼1	
	総合ハングル I	1・2・3・4前・後		1				0						兼1 集中	
	総合ハングルⅡ	2・3・4後		1				0						兼1 不開講	
	入門「読む」「書く」日本語1	1・2・3・4前		1				0						指定学生のみ・不開	
	入門「読む」「書く」日本語 2	1・2・3・4後		1				0						指定学生のみ・不開	
	入門英語 1	1・2・3・4前		1				0						指定学生のみ・不開	
	入門英語 2	1・2・3・4後		1				0						指定学生のみ・不開	講
	上級日本語 I	2・3・4前		1				0		1				留学生のみ	
Art.	上級日本語Ⅱ	2・3・4後		1				0		1				留学生のみ	
設	日本語(文法) I	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
授	日本語(文法)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
業科	日本語(文法)Ⅲ	1・2・3・4前・後		1				\circ						兼1	
	日本語(文法)IV	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	日本語(文字・語彙)	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		1				0						兼1	
留学	日本語(聴解)I	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
生	日本語(聴解)Ⅱ	1・2・3・4前・後						0							
/こ i==	•			1										兼1	
用 用	日本語(読解) I	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	日本語(読解)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	日本語(会話)	1・2・3・4前		1				0						兼1	
	日本語 (作文)	1・2・3・4前		1				0						兼1	
	日本語演習(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	総合日本語演習 I (日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	総合日本語演習Ⅱ(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	小計 (48科目)		0	49	0				0	1	1	0	0	兼8	\dashv
ı I <u>L</u>	(1.H) (10/1 H)		U	49	U	l			U	1	1	U	U	ALO.	

					単位数	-	授	受業形態	態		専任参	女員等(の配置	İ		
科目		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	ग्रे	22,811 = - 811	107,190	修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		pin 3
	0			112	ν.	щ	4%	П	習	,,,	,^	Hills	7	,		
	3	UNIVAS 1	1・2・3・4前		1				0						兼3	
	3 心	UNIVAS 2	1・2・3・4後		1				0						兼3	
	٢	UNIVAS 3	2・3・4前・後		1				\circ						兼3	
	体の	UNIVAS 4	2・3・4後		1				\circ						兼3	集中
	健	UNIVAS 5	2・3・4後		1				\circ						兼1	集中
	康科	特別支援教育概論	2・3後		2		0								兼1	教職コース生のみ
	目群	小計 (6科目)	_	0	7	0		_		0	0	0	0	0	兼4	
	\$9 91	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				\circ							特別単位認定科目
	位 認	実践学習講座	1・2・3・4前・後		1~8				\circ							特別単位認定科目
	科日	小計 (2科目)	_	0	1~8	0		_		0	0	0	0	0		
教職		教職論	1・2・3後		2		\circ								兼1	再掲
机		教育原理	1・2・3前		2		0								兼1	再掲
関		教育史	2・3前		2		0									再掲
する		教育心理学I	3前		2		0			1						再掲
科		教育心理学Ⅱ	3・4後		2		0			1						再掲
目		教育社会学教職課程論	3前		2		0									再掲
		教職課程調 社会科教育法 I	2・3後 2・3前		2 2		0									再掲 再掲
		社会科教育法Ⅱ	2・3後		2		0									再掲
		社会科・公民科教育法 I	3前		2		0									再掲
		社会科・公民科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅱ	3後		2		0									再掲
		道徳教育の理論と方法	3前		2		0								兼1	1.1.1.2)
		特別支援教育概論	2・3後		2		0									再掲
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前		2		0								兼1	1.1.1.6)
		教育方法論	2・3後		2		0								兼1	
		教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0									再掲
		生徒・進路指導の理論と方法	3後		2		0			1					/IKI	1114
		教育相談	2・3前		2		0			1						
		教職実践演習(中・高)	4後		2		0		0	1					兼4	オムニバス
		教育実習指導	3後		1				0						兼1	
		教育実習I	4前		2				0						兼1	
		教育実習Ⅱ	4前		2				0						兼1	
		小計 (22科目)	_	0	43	0		_		1	0	0	0	0	兼5	
		合計 (327科目)	_	32	588	0		-		7	5	7	0	0	兼79	
	学信	立又は称号 学士(経済学	:)	学	位又に	は学科	斗の分	·野	経	済学	関係					
			履修	方	法						-	授	業期間	間等		
		88単位・一般教育科目25単位・	一般教育科	目及で	が専門 だいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか]	1 学年	の学	期区分					2期
		i位の計124単位以上を修得するこ : 1学期で16単位以上24単位以下					₹:1				業期					15週
- 5+	-1/\	· 1 丁州 (10 平 四 从 工 24 平 四 从 下)	3 4十八 . 40	千世	<i>∞</i> 1°°	,					業時					90分

2022/6/20:13:41print

				単位数	(授	受業形態	態		専任教	対員等(の配置		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考

(用紙 日本産業規格A4縦型)

	教	課		程		等		0))	櫻		用紙 要		1 /11/	É規格 A 4 縦型)
(経営	学部経営学科)														
				単位数	ζ	授	受業形!			専任教	対員等	の配置	İ		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区刀			修	択	由	義	習	· 実 習	授	教 授	師	教	手		
専経		1・2・3・4前	2			0		自	1						
門 営科 学		1・2・3・4後		2		0								兼1	
目類	dest NV - L - =	2・3・4前		2		0					1				
	経営史Ⅱ	2 · 3 · 4後		2		0					1				
	経営管理論 I	2 · 3 · 4前		2		0				1					
	経営管理論Ⅱ	2 · 3 · 4後		2		0				1					
	リスクマネジメント論	2 · 3 · 4前		2		0								兼1	
	国際経営論 I	3・4前		2		0				1					
	国際経営論Ⅱ	3・4後		2		0				1					
	経営統計学I	2・3・4前		2		0			1						
	経営統計学Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
	経営組織論	2・3・4後		2		0				1					
	経営戦略論	2・3・4前		2		0				1					
	人的資源管理論	2・3・4後		2		0			,	1					
	生産マネジメント	2 · 3 · 4前 2 · 3 · 4前		2 2		0			1					±:1	
	コーポレート・ファイナンス			_		0								兼1	
	アントレプレナーシップ論	2・3・4前		2		0				,				兼1	
	ビジネス・エコノミクス	2・3・4前		2		0				1					
	イノベーション・マネジメント テクノロジー・マネジメント	3・4後		2 2		0			1	1					
	中国ビジネス入門	3·4後 2·3·4		2		0			1						不開講
	ア国こン不入八門フードビジネス論	2 · 3 · 4		2		0								1 i	不開講
	オペレーション管理I	2・3・4前		2		0			1						/ 1、1対 0件
	オペレーション管理Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
	岡山経営者論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1		1				
	物流管理論	3・4後		2		0			1		1				
	アカデミック・ライティング	3・4後		1		0			1		1				
	小計 (27科目)	-	2	51	0		_		5	2	2	0	0	兼3	
縚		1・2・3・4前	2			0			1					兼1	
営情		1 · 2 · 3 · 4後		2		0			1					兼1	
華		2 · 3 · 4後		2		0			1						
学	データベース論	2 · 3 · 4前		2		0				1					
類	データベース実践	2 · 3 · 4後		2			0			1					
	応用情報処理 I	1・2・3・4前		2		0			1						
	情報技術論 I	2 • 3 • 4前		2		0			1						
	情報技術論Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
	情報システム論	2・3・4後		2		0								兼1	
	情報ネットワーク論 I	3・4前		2		0				1					
	情報ネットワーク論Ⅱ	3・4後		2		0				1					
	情報社会と情報倫理	1・2・3・4後		2		0				1				兼1	
	サーバアプリケーション	2・3・4前		2		0								兼1	集中
	計測制御演習	2・3・4後		2		_	0							兼1	z I
	プログラミングVB	2・3・4後		2		0			1					VIV.T	
	アプリケーション作成演習	2・3・4前		2			0		1	1					
	プログラミングJAVA	2・3・4前		2		0			1	1					
	情報システム技術	1・2・3・4前		2		0			1						
									1					±:1	
	ネットワークシステム演習	2・3・4前		2		_	0		,					兼1	
	マルチメディア表現	2・3・4前		2		0			1						
	マルチメディア技術	2・3・4後		2		0			1						
	Webデザイン	2・3・4後		2		0					1				
	Webプログラミング	2·3·4後		2		0					1				
	情報と職業	1・2・3・4前		2		0			l					兼1	

				単位数	ζ	授	業形!	態		専任参	女員等:	の配置	Ī		
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	1文米行 1 の名が	配当干风	修	択	由	義	習	美	授	教授	師	教	手		VIII 7-5
			19		щ		н	習	JX	JX.	цц	扒	7		
	情報科教育法I	3前		2		0									
	情報科教育法Ⅱ 小計(26科目)	3後	2	2 50	0	0	_		2	1	2	0	0	兼3	
4		1・2・3・4前・後		2	0	0		1	1	1	۷	0	0	釈る	
言		1・2・3・4前		2		0			1						
与 数	• [1.1]	1・2・3・4前		2		0			1	1					
	簿記論IV	1・2・3・4後		2		0			1						
	簿記論V	1・2・3・4前		2		0			1						
	簿記論VI	1 · 2 · 3 · 4後		2		0				1					
	工業簿記I	1・2・3・4前		2		0				1					
	工業簿記Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0				1					
	初級原価計算論	1・2・3・4前		2		0			1						
	原価計算論	1・2・3・4前		2		0			1						
	会計学	1 · 2 · 3 · 4後		2		0			1						
	財務諸表論I	2・3・4後		2		0			1						
	財務諸表論Ⅱ	2 • 3 • 4前		2		0			1						
	財務諸表論Ⅲ	3・4後		2		0				1					
	連結財務諸表論	2・3・4後		2		0			1						
	管理会計論	2 • 3 • 4前		2		0			1						
	連結会計論	2 • 3 • 4前		2		0			1						
	税務会計論	3・4前		2		0			1						
	会計監査論	2•3•4後		2		0			1						
	国際会計論	3 • 4前		2		0			1						
	経営分析論	3 • 4前		2		0			1						不開講 (隔年)
	意思決定会計論	3 • 4前		2		0			1						隔年
	会計学基礎 I	1前		2		0			1						
	会計学基礎Ⅱ	1後		2		0			1						
	税理士による租税講座	2・3・4前		2		0			1						
	小計 (25科目)		0	50	0		_	•	4	1	0	0	0		
牛		2 • 3 • 4		2		0									不開講
· 一		2 • 3 • 4		2		0									不開講
彰		2・3・4後		2		0								兼2	
	小計(3科目)	_	0	6	0		_		0	0	0	0	0	兼2	
<i>y</i>		3・4前		2		0					1				
書		3・4後		2		0					1				
彭	小計 (2科目)	_	0	4	0		_		0	0	1	0	0		
研 学 遊	研 先便省	2・3・4通	12				0		9	4	3				
꿑	小計(1科日)	_	12	0	0	_	-		9	4	3	0	0		
	- I Paning -	1・2・3・4前		2		0								兼1	
– – – – – – – – – – – – – – – – – – –	[ビジネス概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	
	マーケティング論 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	
	マーケティング論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1	
	企業論 II 商品開発	2・3・4後		2 2		0								兼1	
		3・4後				0								兼1	
	保険論	3・4前		2		0								兼1	
	証券市場論 I 証券市場論 I	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0								兼1 兼1	
	証券市場論Ⅱ 流通システム論Ⅰ			2		0									隔年
	流通システム論Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4後		2											!
	流通ンステム論Ⅱ 商業経営論	2・3・4後		2		0									隔年 隔年
				2		_			1]
	ビジネス英会話 I ビジネス英会話 II	2·3·4前 2·3·4前		2		0			1						不開講
	ピン不入央会話Ⅱ 貿易実務論Ⅰ			2		0			1					羊1	
		3・4前												兼1	
	貿易実務論 II 市場調査論	3・4後		2		0								兼1	
1 I	川場物門里珊	3・4前	I	2		0		I .	I	I			I	兼1	i l

				単位数	ζ	授	受業形!	態		専任参	対員等	の配置	i.	
科目		画业年发	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考
区分	授業科目の名称	配当年次						•		教				1佣-芍
			修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手	
	社会調査実践	3・4通		4			0							兼1
	広告論	3・4後		2		\circ								不開講 (隔年)
	観光学概論	1・2・3・4前		2		\circ								兼1
	観光経営論	2・3・4後		2		\circ								兼1
	観光地計画論	3・4前		2				\circ						兼2
	国際文化論	1・2・3・4前		2		0								兼1
	地域づくり論I	2・3・4前		2		0								兼1
	地域づくり論Ⅱ	2·3·4後		2		0								兼1
	観光英会話Ⅱ	2·3·4後		2		0								不開講
	ライフプランニングと資金計画・リスク管理			2		0								兼1
	金融資産運用・不動産 I	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1
	タックスプランニング、相続・事業承継	1・2・3・4前		2		0								兼1
	タックスプランニング	2・3・4前		2		0								兼1
	金融資産運用設計Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1
	不動産運用設計Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1
	ライフプランニングと資金計画Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1
	リスク管理Ⅱ 相続・事業承継	2·3·4後 2·3·4前		2 2		0								兼1
	旧					_								兼1
	FP金融資産・不動産運用設計	2·3·4後 2·3·4後		2 2		0								兼1 兼1
	F P タックス・相続プランニング	2・3・4後		2		0								兼1
	FP技能論 I	2・3・4版		2		0								兼1
	F P技能論Ⅱ	2・3・4街		2		0								兼1
	F P提案書概論 I	2・3・4前		2		0								兼1 不開講(隔年)
	F P提案書概論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1 不開講(隔年)
	ポートフォリオ・マネジメント	2 · 3 · 4前		2		0								兼1
	リーガル&コンプライアンス	2 • 3 • 4前		2		0								兼2
	不動産運用設計論	2・3・4後		2		0								兼1 不開講(隔年)
	運用設計企画 I	1・2・3・4前		2		0								兼1 隔年
	運用設計企画Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1 隔年
	簿記入門	2 • 3 • 4		2		0								不開講
	職業指導 I	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1 教職コース生のみ
	職業指導Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼1 教職コース生のみ
	商業科教育法 I	3前		2		\circ								兼1 教職コース生のみ
	商業科教育法Ⅱ	3後		2		0								兼1 教職コース生のみ
% ∀	小計 (52科目)	-	0	106	0		_		1	0	0	0	0	兼17
経済	経済学	1・2・3・4後		2		0								兼2
学類	ミクロ経済学 中級ミクロ経済学	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0 0								兼2 兼2
類	中級ミクロ経済学	2・3・4後		2		0								
	中級マクロ経済学	2・3・4後		2		0								兼2 兼2
	日本経済論 I	2・3・4前		2		0								兼1
	金融論	2・3・4後		2		0								兼1
	金融政策	2・3・4前		2		0								兼1
	地域金融論	2・3・4後		2		0								兼1
	金融工学入門	2 · 3 · 4前		2		0								兼1
	開発金融論	3・4後		2		0								兼1
	国際金融論	3・4前		2		0								兼1
	データサイエンス入門 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
	データサイエンス入門Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
	経済統計論I	2·3·4前		2		0								兼1
	経済統計論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1
	金融リテラシー講座 (応用編)	1・2・3・4前		2		0								兼3
	金融リテラシー講座(金融機関業務編)	2・3・4後		2		0								兼2
	災害リスク管理と経済学	2・3・4前		2		0								兼1 集中

					単位数	(授	受業形!	態		専任参	女員等	の配置	1		
科		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区	分	又来有 L 0 2 4 7 7	此コ十八						•		教					E- HI
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
		小計(19科目)	_	0	38	0		_		0	0	0	0	0	兼13	
	法学	法人税法	2 • 3 • 4		2		0									不開講
	チ類	法と情報	1・2・3・4前		2		0								兼1	
		法と言語 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0								兼1	不開講
		法と言語Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		\circ								兼1	不開講
		憲法Ⅲ(人権1)	2・3・4前		2		0								兼1	
		憲法IV (人権2)	2·3·4後		2		0								兼1	! !
		行政法 I (基本原理、行政組織法)	2・3・4前		2		0								兼1	
		行政法IV(行政救済法)	2・3・4後		2		0								兼1	
		税法Ⅰ	2・3・4前		2		0								兼1	
		税法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	
		税法Ⅲ	2・3・4前		2		0								兼1	
		税法IV	2・3・4後		2		0								兼1	! !
		民法概説	1・2・3・4版		2		0								兼1	
		民法総則	2・3・4後		2		0			I					兼1	
							_			I						
		物権総論	2・3・4前		2		0								兼1	
		担保物権	2・3・4後		2		0								兼1	i ! !
		債権総論	2・3・4前		2		0								兼1	
		契約法	1・2・3・4後		2		0								兼1	
		商法総則・商行為	2·3·4後		4		0								兼1	
		会社法概説	2・3・4後		2		0								兼1	
		会社法 I	2・3・4後		2		\circ								兼1	
		会社法Ⅱ	2・3・4後		2		\circ								兼1	
		金融商品取引法 I	2・3・4前		2		\circ								兼1	! ! !
		金融商品取引法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼1	! !
		小計 (24科目)	_	0	50	0		_		0	0	0	0	0	兼10	
	特	日本語基礎演習 I	3・4前		1			0							兼1	
	別演	日本語基礎演習Ⅱ	3・4後		1			0							兼1	
	習	日本語特別演習 I	3・4前		1			0							兼1	! ! !
		日本語特別演習Ⅱ	3・4後		1			\circ							兼1	
		金融特別演習 I	2・3・4前		2			0							兼2	
		小計(5科目)	_	0	6	0		_		0	1	0	0	0	兼3	
	新 別 単	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				0							特別単位認定科目
	部	実践学習講座	1・2・3・4前・後		1~8				0							特別単位認定科目
	定料日	小計(2科目)	_	0	1~8	0		_		0	0	0	0	0		
に関		インターンシップ 1	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1	未開講
す	タ	インターンシップ 2	2・3・4後		2				0						兼2	
る 科	ン	インターンシップ 3	2 • 3 • 4		2				0	1						未開講
目		インターンシップ 4	2 • 3 • 4		2				0						兼1	未開講
	プ	小計 (4科目)	_	0	8	0		_		1	0	0	0	0	兼4	
	教養	教養演習	1・2通	4				0		5	3	4	1	0		
般教		小計(1科目)	_	4	0	0		_		5	3	4	1	0		
育	1	法学 I	1・2・3・4前		2		0								兼1	i
科	車	法学Ⅱ (日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2		0			I					兼1	
目	門	政治学入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講 (隔年)
	接	政治学入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0			I						不開講 (隔年)
	続科	経済学入門	1・2・3・4前		2		\circ								兼2	
	目	新聞を読む	1・2・3・4前		2		0			I					兼1	
	群	岡山経営者論 I	1・2・3・4前		2		\circ			1		1				
		現代ビジネス事情	1・2・3・4後		2		0			I					兼1	
		商業・流通とマーケティング	1・2・3・4後		2		\circ			I					兼1	
		企業論 I	1・2・3・4前		2		0			I					兼2	
		教職論	1・2・3後		2		0			1						教職コース生のみ
		小計 (11科目)	_	0	22	0		_		2	0	1	0	0	兼9	!

					単位数	ζ	授	受業形	態		専任参	女員等	の配置	Ċ	
科目	1	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	備考
区分	Ì	(文業件日の名称)	配当午休						•		教				1佣-芍
				修	択	田	義	習	実習	授	授	師	教	手	
		西洋史 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
	—	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
	般	東南アジアの歴史と社会	1・2・3・4後		2		0								兼1 不開講(隔年)
	知識	外国文学 I 外国文学Ⅱ	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2		0								兼1 兼1
	科	日本語学	1・2・3・4後		2		0								兼1 不開講(隔年)
	目群	日本語表現	1・2・3・4後		2		0								兼1 隔年
		芸術 I	1・2・3・4前		2		O								兼1
		芸術Ⅱ	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼1
		芸術Ⅲ	1・2・3・4前		2		0								兼1
		芸術IV	1・2・3・4後		2		0								兼1
		科学と哲学	1・2・3・4前		2		0								兼1
		災害と経済	1・2・3・4前		2		0								兼1 集中
		数学と経営	1 • 2 • 3 • 4		2		0					1			不開講
		博物館概論	1・2・3・4前		2		0								兼1
		博物館経営論 博物館資料論	1·2·3·4前 1·2·3·4前		2		0								兼1 兼1
		博物館資料保存論	1・2・3・4例		2		0								兼1
		博物館展示論	1・2・3・4前		2		0								兼1
		博物館教育論	1・2・3・4後		2		0								兼1
		博物館情報・メディア論	1・2・3・4前		2		0								兼1
		博物館実習	3・4通		3				0						兼1
		考古学 I	1・2・3・4前		2		0								兼1
		考古学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
		民俗学 I	1・2・3・4後		2		0								兼1
		民俗学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1
		日本事情 I	1・2・3・4前		2		0								兼1 留学生のみ
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼1 留学生のみ
		教育原理	1・2・3前		2		0			1					教職コース生のみ
		教育史教育社会学	2・3前 3前		2		0			1 1					教職コース生のみ 教職コース生のみ
		小計(31科目)	— 2Hil	0	63	0		_		2	0	1	0	0	兼11
1 F	3	アクティブラーニング社会学基礎編	1 • 2 • 3 • 4		2	Ť	0				Ť			Ů	集中・不開講
		アクティブラーニング社会学展開編	1 • 2 • 3 • 4		2		0								集中・不開講
	1 全	人間形成論・職業形成論	1・2・3・4前		2		0								兼1
	学	法を考える	1・2・3・4前		2		0								兼1
	共通	政治を考える	1・2・3・4後		2		0								兼1
:	知	医学・医療を考える	1・2・3・4前		2		0								兼1
	識科	技術と経営	1・2・3・4前		2		0			1					36.4
	目	公共の倫理学	1・2・3・4後		2		0								兼1
	群	こころの哲学 現代数学への招待A(無限と連続)	1·2·3·4後 1·2·3·4後		2		0								兼1
		現代数字への招待A (無限と連続) 使える数学A (線形代数)	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2		0				1				不開講(隔年)
		使える数子A(緑形代数) 使える数学B(微分と積分)	1 • 2 • 3 • 4		2		0				1				隔年
		思考の論理的形式 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0				1				兼1 隔年
		思考の論理的形式Ⅱ	1・2・3・4前		2		0								不開講 (隔年)
		コンピュータ処理I	1・2・3・4前		2		0								不開講
		コンピュータ処理Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								不開講
		こころの科学	1・2・3・4前		2		0								兼1
		適応の心理学	1・2・3・4後		2		0								兼1
		金融リテラシー講座(基礎編)	1・2・3・4前		2		0								兼3
		岡山講座	1・2・3・4前		2		0								兼1
		生涯学習概論	1・2・3・4後	_	2		0								兼1
		データ分析	1・2・3・4前・後	2			0			1		2			兼1
		キャリア形成論	2·3·4後	2	0		0								兼4
		入門数学 1 入門数学 2	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$		2		0								不開講 不開講
		教育心理学 I	3前		2		0								・
1 1		から で 左 ナ 1	กนา		۷	l	ı	ı	ı I	1	l	ı	ı	ı	101 TAME 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11

					単位数	(授	受業形]	態		専任参	女員等	の配置	Ĺ		
科	Ħ	14 110 41 - 1 41		2/	\aa	<u> </u>	=##	- July -	実	+/.	VII.	=##	n.L.	nı.		We be
区		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准教	講	助	助		備考
				修	択	由	義	習	実	授	授	師	教	手		
		教育心理学Ⅱ	3・4後		2		0		習						兼1	教職コース生のみ
		教職課程論	2・3後		2		0			1					N/L	教職コース生のみ
		教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0					1				教職コース生のみ
		小計 (29科目)	_	4	54	0		_		3	2	2	0	0	兼14	
3	3	英語コミュニケーション 初級 I	2·3·4前		1				0		1				兼2	
· 社	2	英語コミュニケーション 初級Ⅱ	2・3・4後		1				\circ		1				兼2	
会力	コ	英語コミュニケーション I	1・2・3・4前・後		1				\circ		1				兼2	
力 育	1// 1	英語コミュニケーションⅡ	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼1	
成	11	英語コミュニケーションⅢ	2・3・4前		1				0		1				兼2	
科目	ケー	英語コミュニケーションIV	2・3・4後		1				0		1				兼2	
群	シ	英語コミュニケーション(TOEIC) I 英語コミュニケーション(TOEIC) Ⅱ	1·2·3·4前 1·2·3·4		1 1				0		1				兼1	
	H	英語コミュニケーション 上級 I	1 • 2 • 3 • 4		1				0						NK1	不開講
	ン科	英語コミュニケーション 上級Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0							不開講
	目		1·2·3·4後		1				0							不開講
	群	英語コミュニケーション(TOEIC)上級Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				0							不開講
		総合英語 I	1・2・3・4前		1				\circ	1						集中
		総合英語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2				\circ	1						集中
		初級ドイツ語 I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
		初級ドイツ語Ⅱ	1·2·3·4後		1				0						兼1	
		初級中国語Ⅰ	1・2・3・4前		1				0						兼2	
		初級中国語Ⅱ	1·2·3·4後		1				0						兼2	
		中級中国語 I	2 · 3 · 4		1				0						兼3	孔子学院のみで開講
		中級中国語Ⅱ	2 • 3 • 4		1				0						兼3	孔子学院のみで開講
		上級中国語 I	2 · 3 · 4		1				\circ						兼3	孔子学院のみで開講
		上級中国語Ⅱ	2 · 3 · 4		1				\circ						兼3	孔子学院のみで開講
		総合中国語 I	1・2・3・4後		1				\circ						兼1	集中
		総合中国語Ⅱ	1・2・3・4前		2				\circ						兼1	集中
		初級ハングル I	1・2・3・4前		1				0						兼1	
		初級ハングルⅡ	1・2・3・4後		1				0						兼1	
		総合ハングル I	1・2・3・4前		1				0						兼1	集中
		総合ハングル Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2				0						兼1	集中・不開講
		入門「読む」「書く」日本語 1	1 • 2 • 3 • 4		1				0							2022年度以後入学の指定学生のみ 不開講
		入門「読む」「書く」日本語 2	1 • 2 • 3 • 4		1				0							2022年度以後入学の指定学生のみ 不開講
		入門英語 1	1 • 2 • 3 • 4		1				0							2022年度以後入学の指定学生のみ 不開講
																2022年度以後入学の指定学生のみ 不開講
		入門英語 2	1·2·3·4 2·3·4前		1				0						¥:1	留学生のみ
		上級日本語 I 上級日本語 II			1				0						7111	
	特		2・3・4後		1				0		1				飛1	留学生のみ
	司文	日本語(文法)I	1・2・3・4前・後		1				0		1					
	授業	日本語(文法)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0		1					
	科	日本語(文法)Ⅲ	1・2・3・4前・後		1				0		1					
	目	日本語(文法)IV	1・2・3・4前・後		1				0		1					
	留留	日本語(文字・語彙)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	学	日本語(聴解)I	1・2・3・4前・後		1				0		1					
	生に	日本語(聴解)Ⅱ 日本語(読解)Ⅰ	1·2·3·4前·後 1·2·3·4前·後		1 1				0		1				兼1	
	適	日本語(読解)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
	用	日本語(会話)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
		日本語(作文)	1・2・3・4前・後		1				0		1				AIV.1	
		日本語演習(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
		総合日本語演習 I (日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
		総合日本語演習Ⅱ(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼1	
		小計 (48科目)	_	0	51	0		_		1	2	0	0	0	兼7	

					単位数	[授	受業形!	態		専任参	負等	の配置	į.		
	·目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	-	備考
X	分	[大米] [] () [] []		修	択	由	義	習	実	授	教授	師	教	手		vm· 3
				115	171	Н	我	白	習	1又	1又	ווים	叙	于		
	3	UNIVAS 1	1・2・3・4前		1				0				1		兼2	
	小 3	UNIVAS 2	1・2・3・4後		1				0				1		兼2	
	と	UNIVAS 3	2・3・4前・後		1				0				1		兼2	
	体の	UNIVAS 4	2·3·4後		1				0				1	1	兼2	集中
	健康	UNIVAS 5	2・3・4前・後		1				0						兼1	集中
	科目	特別支援教育概論	2・3後		2		\circ								兼1	教職コース生のみ
	群	小計(6科目)	_	0	7	0		_		0	0	0	1	0	兼3	
	99 591 Mi.	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				0							特別単位認定科目
	超音	実践学習講座	1・2・3・4前・後		1~8				0							特別単位認定科目
	料日	小計(2科目)	_	0	1~8	0		_		0	0	0	0	0	0	
	教 哉	教育原理	1・2・3前		2		0			1						再掲
	സ こ	教育史	2・3前		2		\circ			1						再掲
	期	教職論	1・2・3後		2		\circ			1						再掲
	ナ る	教育社会学	3前		2		\circ			1						再掲
1	計	教育心理学 I	3前		2		0								兼1	再掲
'	∄	教育心理学Ⅱ	3・4後		2		0								兼1	再掲
		特別支援教育概論	2・3後		2		0								兼1	再掲
		教育課程論	2・3後		2		0			1						再掲
		商業科教育法 I	3前		2		0								兼1	再掲
		商業科教育法Ⅱ	3後		2		0								兼1	再掲
		情報科教育法 I	3前		2		0					1				再掲
		情報科教育法Ⅱ	3後		2		\circ					1				再掲
		道徳教育の理論と方法	3前		2		0			1					.,	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前		2 2		00			1					兼1	
		教育方法論 教育におけるICT活用	2・3後 1・2・3後		2		0			1		1				再掲
		生徒・進路指導の理論と方法	3後		2		0					_			兼1	1334
		教育相談	2・3前		2		\circ								兼1	
		教育実習指導	3後		1				0			1			兼1	
		教育実習Ⅱ	4前		2				0			1			兼1	
		教職実践演習(中・高)	4後		2				0	1		1		_		オムニバス
		小計 (21科目)	_	0	41	0		_		2	0	1	0	0	兼4	
-	<i>≌1</i> :	合計(324科目) 立又は称号 学士(経営学)	_	24 ⇒	589 位又 <i>i</i>	1学系	1.04	田子	経済	12 学題 <i>(</i>	6 \$	5	1	0	兼66	
	1 1.	<u> </u>	履修	方	法	4千个	TVノブ	土 [性仴	一一	715	źέ	受業期	間笙		
車門	科日	82単位・一般教育科目21単位・				科日	を		1 学年	の学	田マ/		~ <i>7</i> 77	iiiii 4		
問わ	す21	単位の計124単位以上を修得する	ること。(履	員修和	目登	録の_				-	., ,	•				* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
		3年次:1学期で16単位以上24単位	以下。4年	次:4	48単位	Z以			1 学期		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•				15週
下。) 1時限の打										の授	棄時間	盯				90分

				単位数	ζ	授	業形	態		専任教	女員等	の配置	i.	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考

(用紙 日本産業規格A4縦型)

(叔)	一件出	教 章 李部商学科)	詳課		程		等	;	0)		棚		1 紙 要		<u> </u>	≅規格A4凝型
小土	一	HMI린(국가)			単位数	ζ	授	受業形	態		専任参	女員等(の配置	Ţ		
科		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区	分	10000000000000000000000000000000000000	此当于以	修	択	由	義	習	実	授	教授	師	教	手		NHI 3-3
与	商	ビジネス概論 I	1・2・3・4前	2			0		習	1						Ī
月	学	ビジネス概論Ⅱ	1・2・3・4後				0			1						
ļ 1	類	地域マーケティングI	3・4前		2		0			1						
		地域マーケティングⅡ	3・4後		2		0			1						不開講
		マーケティング論 I	1・2・3・4前		2		0			1			1			
		マーケティング論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1			1			
		企業論Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
		消費者行動論	3・4前		2		0						1			
		商品開発	3・4後		2		0						1			
		保険論	3・4前		2		0								兼 1	
		証券市場論 I	2・3・4前		2		0			1						
		証券市場論Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						#== f
		ビジネス・ライティングI	2・3・4後		2		0			1						隔年
		ビジネス・ライティング II 商業経営論	2·3·4 2·3·4後		2 2		0			1						隔年・不開講 隔年
		商業史	2・3・4版		2		0			1 1						不開講
		流通システム論 I	1 • 2 • 3 • 4前		2		0			1						隔年
		流通システム論Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4後		2		0			1						隔年
		ビジネス・デザイン論	2 • 3 • 4		2		0			1						不開講
		西洋デザイン史	3・4前		2		0			1						1 12.5 413
		テーマパークデザイン論	2·3·4前		2				0		3					集中
		ユニバーサルデザイン論	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
		ビジネス英会話 I	2 • 3 • 4		2		0								兼 1	不開講
		ビジネス英会話Ⅱ	2・3・4前		2		0								兼 1	
		ネットビジネス論 I	1・2・3・4前		2		0			1						
		ネットビジネス論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1						
		貿易実務論 I	3 • 4前		2		0								兼 1	ī
		貿易実務論Ⅱ	3・4後		2		0								兼 1	
		サービス・マーケティング	2·3·4後		2		0			1						隔年
		市場調査論	3・4前		2		0								兼 1	
		社会調査実践	3・4通		4			0		1						
		広告論	2 • 3 • 4		2		0			1						隔年・不開講
		ビジネスコミュニケーション	2・3・4前		2		0									不開講
		比較文化論	2 · 3 · 4前 1 · 2 · 3 · 4前		2		0				1					
		観光学概論 観光経営論	2・3・4後		2		0				1 1					
		観光地理学	1・2・3・4後		2		0				1					隔年
		国際観光論	2・3・4後		2		0				1					1114
		観光資源論	2 • 3 • 4		2		0				1					隔年・不開講
		観光実務	2·3·4前		2		0				1					
		観光地計画論	3・4前		2				0		2					集中
		国際文化論	1・2・3・4前		2		0				1					
		ホテル計画論	3 • 4		2		0									不開講
		地域づくり論 I	2・3・4前		2		0									
		地域づくり論Ⅱ	2・3・4後		2		0									
		観光サービス実習	2・3・4前		2				\circ		2					集中
		観光英会話 I	2・3・4前		2		0			1						
		観光英会話Ⅱ	2 · 3 · 4		2		0									不開講
		ライフプランニングと資金計画・リスク管理			2		0			1						
		金融資産運用・不動産 I	1・2・3・4後		2		0			1						
		タックスプランニング、相続・事業承継	1・2・3・4前		2		0			1						
		タックスプランニング	2・3・4前		2		0			1						
		金融資産運用設計Ⅱ	2・3・4前		2		0			1						
		不動産運用設計 II ライフプランニングと資金計画 II	2·3·4前 2·3·4前		2 2		0			1 1						

					単位数	(授	受業形]	態		専任参	女員等(の配置			1
科	Ħ	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
区分	分	(文条件日の名称)	配当午久	修	火	由	義	習	・実	授	教授	師	教	手		佣石
				115	扒	н	我	百	習	1文	1文	Ħlì	教	十		•
		リスク管理Ⅱ	2・3・4前		2		0			1						
		相続・事業承継	2・3・4前		2		0			1						
		FPリスク・リタイアメントプランニング FP金融資産・不動産運用設計	2·3·4後 2·3·4後		2 2		0			1 2						
		F F を融資性・不動性運用設計 F P タックス・相続プランニング	2・3・4後		2		0			1						
		F P技能論 I	2・3・4前		2		0			1						
		F P技能論Ⅱ	2・3・4後		2		0			1						
		F P提案書概論 I	2 • 3 • 4		2		0			1						隔年・不開講
		FP提案書概論Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0			1						隔年・不開講
		ポートフォリオ・マネジメント	2・3・4前		2		0			1						
		リーガル&コンプライアンス	2 • 3 • 4前		2		0			1					兼 1	<u> </u>
		不動産運用設計論	2 • 3 • 4		2		0			1						隔年・不開講
		不動産管理論	2・3・4後		2		0			1						隔年
		運用設計企画 I 運用設計企画 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2		0			1 1						隔年 隔年
		連用設計企画 II 金融リテラシー講座 (金融機関業務			2		0			1					兼1	将到:4
		マーケティング入門Ⅰ	1 • 2 • 3 • 4		2		0			1					W.I	不開講
		マーケティング入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
		経済入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0									不開講
		経済入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0			1						不開講
		商学のための数学入門	1・2・3・4前		2		0					1				
		簿記入門	1・2・3・4後		2		0					1				
		企業分析入門	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		ビジネスリサーチ入門	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		コミュニティビジネス入門	2 • 3 • 4		2		0									不開講
		職業指導Ⅰ	1・2・3・4前		2		0									教職コース生のみ
		職業指導Ⅱ 商業科教育法 I	2・3・4後		2 2		0									教職コース生のみ 教職コース生のみ
		商業科教育法Ⅱ	3前 3後		2		0									教職コース生のみ
		小計(84科目)	- -	4	166	0		_		12	4	1	1	0	兼 6	
	特	商学特殊講義I	2 • 3 • 4	_	2		0			15	1	1	-			不開講
	殊講	商学特殊講義Ⅱ	2 • 3 • 4		2		0									不開講
	講義	観光振興論特殊講義	2・3・4後		2		0			1	1					
		小計(3科目)	_	0	6	0		_		1	0	0	0	0		
	外書	外国書講読 I	3・4前		2		0								兼 1	1
	講	外国書講読Ⅱ	3・4後		2		0								兼 1	
	読	小計 (2科目)		0	4	0		_		0	0	0	0	0	兼 1	
	究演	研究演習	2·3·4通	12	0	0		0		10	3	0	1	_		
H	習会	小計(1科目)	 1・2・3・4前	12	0	0		_	1	10	3	0	1	0	並 1	
	計	簿記論 I 簿記論Ⅱ	1・2・3・4前		2 2		0								兼 1 兼 1	1
	学類	簿記論Ⅲ	1・2・3・4前		2		0								兼 1	i l
	炽	簿記論IV	1·2·3·4後		2		0								兼 1	! I
		簿記論 V	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼 1	}
		簿記論VI	1・2・3・4後		2		0								兼 1	
1 1		工業簿記 I	1・2・3・4前		2		0								兼 1	
		工業簿記Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼 1	
		初級原価計算論	1・2・3・4前		2		0								兼 1	†
1 1		原価計算論	1・2・3・4後		2		0								兼 1	i l
1 1		会計学	1・2・3・4後		2		0								兼 1	1
		財務諸表論I	2・3・4後		2		0								兼 1	}
1 1		財務諸表論 II 連結財務諸表論	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0								兼 1 兼 1	î l
		連結財務語表論 管理会計論	3・4前		2		0								兼 1	Ī l
		連結会計論	2・3・4前		2		0								兼 1	
		税務会計論	3・4前		2		0								兼 1	<u>.</u>
1 1		会計監査論	2・3・4後		2		0								兼 1	†
		国際会計論	3・4前		2		0								兼 1	Ī l
1 1		経営分析論	3・4前		2		0								兼 1	隔年・不開講
1 1		栓宮分析論	3・4前		2				l l						兼 1	隔午・ 个開講

				単位数	ζ	授	受業形!	態		専任拳	女員等(の配置	Ĺ		
科目	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	ELV FV	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		/++- +z.
区分	授業科目の名称	配当年次						•		教					備考
			修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
	意思決定会計論	3・4前		2		0								兼 1	
	税理士による租税講座	2•3•4前		2		0								兼 1	
	小計 (22科目)	_	0	44	0		_		0	0	0	0	0	兼 5	<u> </u>
治	→ 1	2・3・4前		2		0								兼 1	:
<u>~</u>	产 経営子 II	2・3・4後		2		0								兼 1	i
类	至 経営史 I 経営史 I	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0								兼 1 兼 1	Ī
	経営管理論 I	2・3・4版		2		0								兼 1	!
	経営管理論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	リスクマネジメント論	2・3・4前		2		0								兼 1	1
	国際経営論 I	2・3・4前		2		0								兼 1	Ī
	国際経営論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	経営統計学I	2・3・4前		2		0								兼 1	i i
	経営統計学Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	経営組織論	2・3・4後		2		0								兼 1	<u>.</u>
	経営戦略論	2・3・4前		2		0								兼 1	:
	人的資源管理論	2・3・4後		2		0								兼 1	i
	生産マネジメント	2・3・4前		2		0								兼 1	
	コーポレート・ファイナンス	2・3・4前		2		0			1					** 1	
	アントレプレナーシップ論 ビジネス・エコノミクス	2·3·4前 2·3·4		2		0								兼 1 兼 1	:
	イノベーション・マネジメント	2·3·4 3·4前		2 2		0								兼 1	i
	テクノロジー・マネジメント	3・4後		2		0								兼 1	Ī
	中国ビジネス入門	2・3・4後		2		0								7.11	不開講
	フードビジネス論	2・3・4前		2		0									不開講
	岡山経営者論I	1・2・3・4前		2		0								兼 2	
	岡山経営者論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼 2	
	アカデミック・ライティング	3・4前		1		0								兼 1	
	小計 (25科目)	_	0	49	0		_		1	0	0	0	0	兼 11	
	情報処理概論 I	1・2・3・4前	2			0				1				兼 1	
	情報処理概論Ⅱ	1・2・3・4後		2		0				1				兼 1	
	情報デザイン I 情報デザイン II	2·3·4前 2·3·4後		2 2		0				1 1					
	情報管理論	2・3・4後		2		0				1				兼 1	i i
	データベース論	2・3・4前		2		0								兼 1	i l
	データベース実践	2・3・4後		2			0							兼 1	
	応用情報処理I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼 1	:
	情報技術論 I	2・3・4前		2		0								兼 1	i
	情報技術論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	情報システム論	2・3・4後		2		0								兼 1	!
	情報ネットワーク論I	3・4前		2		0								兼 1	
	情報ネットワーク論Ⅱ	3・4後		2		0								兼 1	!
	情報社会と情報倫理	1・2・3・4後		2		0				1					<i>#</i>
	サーバアプリケーション	2・3・4前		2		0			1						集中
	計測制御演習	2・3・4後		2		0			1					* ·	<u> </u>
	プログラミング V B アプリケーション作成演習	2·3·4後 2·3·4前		2 2		0	0							兼 1 兼 1	<u>.</u>
	プログラミングJAVA	2·3·4削 2·3·4前		2		0								兼 1	<u>.</u>
	情報システム技術	1・2・3・4前		2		0								兼 1	:
	ネットワークシステム演習	2・3・4前		2			0		1					/// 1	į
	マルチメディア表現	2 • 3 • 4前		2		0	~							兼 1	
	マルチメディア技術	2 • 3 • 4後		2		0								兼 1	!
	W e b デザイン	2・3・4後		2		0								兼 1	!
	Webプログラミング	2・3・4後		2		0								兼 1	
	情報と職業	1・2・3・4前		2		0								兼 1	
	小計 (26科目)	_	2	50	0		_		1	1	0	0	0	兼 6	i

		単位数 授業形態			専任拳	女員等(の配置	Ē							
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	-	備考
区分	(文素科目の名称)	配当午次					-	•		教					1用 与
			修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
経済	ミクロ経済学	2・3・4前		2		0								兼 2	
学	経済学	1・2・3・4後		2		0								兼 2	I
類	中級ミクロ経済学	2·3·4後		2		0								兼 2	<u> </u>
	マクロ経済学	2・3・4前		2		0								兼 2	<u> </u>
	中級マクロ経済学	2・3・4後		2		0								兼 2	
	日本経済論 I	2・3・4前		2		0								兼 1	
	国際経済学I	2・3・4前		2		0								兼 1	<u>.</u>
	国際経済学Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	:
	地域資源論 財政政策	2·3·4後 2·3·4前		2		0								兼 1 兼 1	ī
	公共経済学	2・3・4削		2		0									隔年
	金融論	2・3・4後		2		0								兼 1	
	金融政策	2・3・4版		2		0								兼 1	-
	金融リテラシー講座(応用編)	1・2・3・4例		2		0			1						オムニバス
	地域金融論	2・3・4後		2		0								兼 1	1
	金融工学入門	2・3・4前		2		0								兼 1	<u>.</u>
	国際金融論	3・4前		2		0								兼 1	:
	開発金融論	3・4後		2		0								兼 1	
	経済統計論I	2・3・4前		2		0								兼 1	
	経済統計論Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	社会保障論 I	2・3・4前		2		\circ								兼 1	隔年
	社会保障論Ⅱ	2・3・4後		2		0									隔年
	データサイエンス入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2			0							兼 1	!
	データサイエンス入門Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2			0							兼 1	
	災害リスク管理の経済学	2・3・4後		2		0								兼 1	
ÿ±:	小計 (25科目)		0	50	0		_		1	0	0	0	0	兼 13	
法学	法と言語 I	1・2・3・4前		2		0									不開講
類	法と言語Ⅱ 法と情報	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2		0 0								兼 2	不開講
	法人税法	2 • 3 • 4		2		0									不開講
	税法I	2 · 3 · 4前		2		0								兼 1	<u> </u>
	税法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	税法Ⅲ	2・3・4前		2		0								兼 1	:
	税法IV	2·3·4後		2		0								兼 1	
	民法概説	1・2・3・4前		2		0								兼 1	
	物権総論	2・3・4前		2		0								兼 1	
	担保物権	2・3・4後		2		0								兼 1	
	債権総論	2・3・4前		2		0								兼 1	
	商法総則・商行為	2・3・4後		4		0								兼 1	
	会社法概説	2・3・4後		2		0								兼 1	ī
	会社法 I	2・3・4後		2		0								兼 1	ī
	会社法Ⅱ	2・3・4後		2		0								兼 1	
	金融商品取引法 I 金融商品取引法 II	2·3·4前 2·3·4後		2		0								兼 1	<u> </u>
	金融商品取引法 II 知的財産法 I	2·3·4俊 2·3·4		2		0 0								兼 1	隔年・不開講
	知的財産法Ⅱ	2·3·4 2·3·4前		2		0									隔年
	小計 (20科目)		0	42	0		_	\vdash	0	0	0	0	0	兼 11	
特	日本語基礎演習I	3・4前		1			0							兼 1	
別溶	日本語基礎演習Ⅱ	3・4後		1			0							兼 1	ī
演習	日本語特別演習 I	3 · 4前		1			0							兼 1	
	日本語特別演習Ⅱ	3・4後		1			0							兼 1	
	外国語特別演習 I	1 • 2 • 3 • 4		1			0								不開講
	金融特別演習 I	2・3・4前		2			0							兼 2	
ah.	小計 (6科目)	_	0	7	0		_		0	0	0	0	0	兼 4	
97 91 14 42	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				0							特設授業科目
位 認 定 科	実践学習講座	1・2・3・4前・後	<u> </u>	1~8				0							特設授業科目
H H	小計(2科目)	_	0	1~8	0		_								<u> </u>

				単位数 授業形態		態		専任参	女員等(の配置	Ţ				
科	目	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	#1 \\ /#:\\n	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	(±±: ±z.
区	分	授業科目の名称	配当年次					-	•		教				備考
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手	
に関		インターンシップ 1	2 • 3 • 4		2										兼 1 未開講
す	タ	インターンシップ 2	2・3・4後		2				\circ						兼 2
る科		インターンシップ 3	2 • 3 • 4		2				0						兼 1 未開講
目	シッ	インターンシップ 4	2 • 3 • 4		2				\circ	1					未開講
	プ	小計(4科目)	_	0	8	0		_		1	0	0	0	0	兼 4
般	教養	教養演習	1・2通	4				0		7	2	1			
教	演習	小計(1科目)	_	4	0	0		_		7	2	1	0	0	
育	1	法学 I	1・2・3・4前		2		0								兼 1
科目	車	法学Ⅱ (日本国憲法を含む)	1・2・3・4後		2		0								兼 1
Н		政治学入門 I	1 • 2 • 3 • 4		2		0								隔年・不開講
		政治学入門Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								隔年・不開講
	続科	経済学入門	1・2・3・4前		2		0								兼 2
	目	新聞を読む	1・2・3・4前		2		0								兼 1
	群	岡山経営者論 I	1・2・3・4前		2		0								兼 1
		現代ビジネス事情	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		商業・流通とマーケティング	1・2・3・4後		2		0			1					
		企業論 I	1・2・3・4前		2		0			2					
		教職論	1・2・3後		2		0			1					兼 1 教職コース生のみ
		小計 (11科目)	_	0	20	0		_		3	0	0	0	0	兼 9
	2	西洋史 I	1・2・3・4前		2		0								兼 1
	-	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼 1
	/1/	東南アジアの歴史と社会	1・2・3・4後		2		0								兼 1 隔年
	知識	外国文学 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0			1					
	科	外国文学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1					
	目	日本語学	1 · 2 · 3 · 4前		2		0				1				隔年
	群	日本語表現	1 • 2 • 3 • 4		2		0								隔年・不開講
		芸術 I	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼 1
		芸術Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		芸術Ⅲ	1 · 2 · 3 · 4前		2		0								兼 1
		芸術IV	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		科学と哲学	1・2・3・4前		2		0								兼 1
		災害と経済	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		数学と経営	1・2・3・4前		2		0								兼 1 不開講
		博物館概論	1・2・3・4前		2		0			1					
		博物館経営論	1・2・3・4前		2		0								兼 1
		博物館資料論	1・2・3・4前		2		0			1					
		博物館資料保存論	1・2・3・4後		2		0			1					
		博物館展示論	1・2・3・4前		2		0			1					
		博物館教育論	1・2・3・4後		2		0			1					** •
		博物館情報・メディア論	1・2・3・4後		2		0			_					兼 1
		博物館実習	3・4通		3				0	1					
		考古学 I	1・2・3・4前		2		0			1					
		考古学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0			1					* 1
		民俗学I	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		民俗学Ⅱ	1・2・3・4後		3		0					1			兼 1
		日本事情 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2		0					1			留学生のみ 留学生のみ
		日本事情Ⅱ 数章原理			2		0					1			留字生のみ 兼 1 教職コース生のみ
		教育原理	1・2・3前				0								
		教育史	2・3前		2		0								兼 1 教職コース生のみ
		教育社会学	3前 —	0	2	0	0	_		0	1	1			兼 1 教職コース生のみ
		小計 (31科目)	_	0	58	0		_		2	1	1	0	0	兼 9

			単位数 授業形態		専任教員等の配置										
科	目	極業利日の夕新	副业年 发	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	/
区	分	授業科目の名称	配当年次						•		教			-	備考
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手	
3	3	アクティブラーニング社会学基礎編	1・2・3・4後		2		0								兼 1 集中·不開講
· 社	1	アクティブラーニング社会学展開編			2		0								兼 1 集中・不開講
会力	全	7 17 47 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	1・2・3・4前		2		0								兼 1
	学共	法を考える	1・2・3・4前		2		0								兼 2
育成	通	政治を考える 医学・医療を考える	1·2·3·4後 1·2·3·4前		2 2		0								兼 1 兼 1
科目	知識	技術と経営	1・2・3・4前		2		0								兼 1
群	科	公共の倫理学	1・2・3・4後		2		0								兼 1
	目群	こころの哲学	1・2・3・4後		2		0								兼 1
		現代数学への招待A(無限と連続)	1・2・3・4後		2		0								兼 1 隔年
			1・2・3・4前		2		0								兼 1
		使える数学B(微分と積分)	1 • 2 • 3 • 4		2		0								兼 1 隔年・不開講
		思考の論理的形式Ⅰ	1・2・3・4前		2		0								兼 1 隔年·不開講
		思考の論理的形式Ⅱ コンピュータ処理Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4		2 2		0				1				兼 1 隔年 不開講
		コンピュータ処理Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		2		0				1				不開講
		こころの科学	1 · 2 · 3 · 4前		2		0				1				兼 1
		適応の心理学	1 · 2 · 3 · 4後		2		0								兼 1
		金融リテラシー講座(基礎編)	1・2・3・4前		2		0								兼 3
		岡山講座	1・2・3・4前		2		0								兼 1
		生涯学習概論	1・2・3・4後		2		0	_							兼 1
		データ分析	1 • 2 • 3 • 4	2				0			1				兼 3
		キャリア形成論	2·3·4後 1·2·3·4	2	0		0				1				兼 4
		入門数学1 入門数学2	1 • 2 • 3 • 4		2 2		0								不開講 不開講
		教育心理学 [3前		2		0								兼 1 教職コース生のみ
		教育心理学Ⅱ	3・4後		2		0								兼 1 教職コース生のみ
		教職課程論	2・3後		2		0								兼 1 教職コース生のみ
		教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0								兼 1 教職コース生のみ
		小計 (29科目)	_	4	42	0		_		0	2	0	0	0	兼18
	3)	1・2・3・4前		1				0	1					兼 2
	2		1 · 2 · 3 · 4後 1 · 2 · 3 · 4前 · 後		1				0	1 1					兼 2 兼 2
	7 11		1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 2
	ユ	英語コミュニケーションⅢ	2・3・4前		1				0	1					兼 2
	ニケ		2·3·4後		1				0	1					兼 2
	ĺ	英語コミュニケーション(TOEIC) I			1				0	1					
	ショ	英語コミュニケーション(TOEIC)Ⅱ	1 • 2 • 3 • 4		1				\circ	1					
		英語コミュニケーション 上級 I	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講
	科目	英語コミュニケーション 上級 II	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講
	群	英語コミュニケーション(TOEIC)上級 I 英語コミュニケーション(TOEIC)上級 II			1				0	1					不開講
		総合英語I	1 • 2 • 3 • 4		1 1				0						不開講 兼 1 集中・不開講
		総合英語 II	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		2										兼 1 集中
		初級ドイツ語 I	1・2・3・4前		1				0	1					
		初級ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1				0	1					
		初級中国語I	1・2・3・4前		1				0	1					兼 1
		初級中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1				0	1					兼 1
		中級中国語I	2・3・4前・後		1				0	1					兼 2 孔子学院
		中級中国語Ⅱ	2・3・4前・後		1				0	1					兼 2 孔子学院
		上級中国語 I 上級中国語 II	2·3·4前·後 2·3·4前·後		1 1				0	1 1					兼 2 孔子学院 兼 2 孔子学院
		上級中国語 I 総合中国語 I	2 · 3 · 4 前 · 後		1				0	1					集中
		総合中国語 II	1・2・3・4前・後		2				0	1					集中
		初級ハングル I	1 · 2 · 3 · 4前		1				0		1				
		初級ハングルⅡ	1・2・3・4後		1				0		1				
		総合ハングル I	1・2・3・4前・後		1				0		1				集中
		総合ハングルⅡ	2・3・4後		2				0		1				集中・不開講
1 1 1	1	入門「読む」書く」日本語1	1 · 2 · 3 · 4		1				0						不開講

				単位数	ζ	授	受業形]	態		専任参	女員等(の配置		
科目	極業利用の名称	≖1 ¼ 左 ¼p	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助	/
区分	授業科目の名称	配当年次								教				備考
			修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手	
	入門「読む」書く」日本語2	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講
	入門英語1	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講
	入門英語2	1 • 2 • 3 • 4		1				0						不開講
	上級日本語I	2・3・4前		1				0						兼 1 留学生のみ 兼 1 留学生のみ
结	上級日本語Ⅱ	2・3・4後		1				0	,					l
1 1	日本語(文法) I	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
	日本語(文法)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
業科	日本語(文法)Ⅲ	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
目	日本語(文法)IV	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
留留	日本語(文字・語彙)	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
学	日本語(聴解) I	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
生に	日本語(聴解)Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
適		1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
] 日本語(読解) Ⅱ	1・2・3・4前・後		1				0	1					兼 1
	日本語 (会話)	1 · 2 · 3 · 4前		1				0	1					
	日本語(作文)	1 • 2 • 3 • 4前		1				0	1					兼 1
	日本語演習(日本語能力試験対策)								1					AK 1
		1・2・3・4前・後		1				0	1					** •
	総合日本語演習 I (日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0						兼 1
	総合日本語演習Ⅱ(日本語能力試験対策)	1・2・3・4前・後		1				0	1					26
3	小計 (48科目)	_	0	51	0		_		3	1	0	0	0	兼 5
	UNIVAS 1	1・2・3・4前		1				0			1			兼 2
3 心	UNIVAS 2	1・2・3・4後		1				0			1			兼 2
と体	UNIVAS 3	2・3・4前・後		1				0			1			兼 2
の	UNIVAS 4	2・3・4後		1				0			1			兼2集中
健康	UNIVAS 5	2・3・4後		1				0						兼 1 集中
科目	特別支援教育概論	2・3後		2		0								兼 1 教職コース生のみ
群	小計(6科目)	_	0	7	0		_		0	0	1	0	0	兼 2
か 5月 車	インターンシップ学習講座	1・2・3・4前・後		2~8				0						特設授業科目
位 認 定 科	実践学習講座	1・2・3・4前・後		1~8				0						特設授業科目
Н	小計 (2科目)		0	1~8	0	_	_	1						V
教職	教職論	1・2・3後		2		0								兼 1 再掲
(_	教育原理	1・2・3前		2 2		0								兼 1 再掲 兼 1 再掲
関す	教育史 教育心理学 I	2・3前 3前		2		0								兼 1 再掲
る	教育心理学Ⅱ	3・4後		2		0								兼 1 再掲
科目	教育社会学	3前		2		0								兼 1 再掲
	教育課程論	2・3後		2		0								兼 1 再掲
	教育におけるICT活用	1・2・3後		2		0								兼 1 再掲
	商業科教育法I	3前		2		0			1					再掲
	商業科教育法Ⅱ	3後		2		0			1					再掲
	道徳教育の理論と方法	3前		2		0								兼 1
	特別支援教育概論	2・3後		2		0								兼 1 再掲
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前		2		0			1					
	教育方法論	2・3後		2		0								兼 1
	生徒・進路指導の理論と方法	3後		2		0								兼 1
	教育相談	2・3前		2		0								兼 1
	教職実践演習(中・高)	4後		2				0	1					兼 4 オムニバス
	教育実習指導	3後		1				0	1					
	教育実習Ⅱ	4前		2				0	1					V6
	小計 (19科目)	_	0	37	0		_		1	0	0	0	0	兼 5
	合計 (354科目)	_	26	627	0				13	5	2	1	0	兼 71

					単位数	ζ	授	業形	態		専任参	女員等(の配置	Ĺ	
科目区分	授業科目	目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
学位	立又は称号	学士(商	学)	学	位又に	は学科	中の分	野	経	済学	関係				
	卒業要	件及び	履修	方	法							授	受業期	間等	
	82単位・一般教							1	学年	の学	期区分	4			2学期
	単位の計124単位 年次:1学期で1				∤目登 48単位		Ľ.	1 学期の授業期間 15							15週
下。)							1 時限の授業時間					90分			

別表1 全学共通

インターンシップに関する科目

授業科目の名称	単位数
インターンシップ 1	2
インターンシップ 2	2
インターンシップ 3	2
インターンシップ 4	2

教職に関する科目

教職論※12教育原理※12教育史※12教育心理学 I ※12教育心理学 II ※12教育社会学※12教職課程論※12社会科教育法 I ※22社会科教育法 I ※22社会科・公民科教育法 I ※22社会科・公民科教育法 I ※22商業科教育法 I ※22商業科教育法 I ※22情報科教育法 I ※22情報科教育法 I ※22情報科教育法 I ※22情的教育の理論と方法2特別活動及び総合的な学習の時間の指導法2教育方法論2教育方法論2教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習 I2教育実習 I2	授業科目の名称	単位数
教育史※12教育心理学 I ※12教育心理学 II ※12教育社会学※12教職課程論※12社会科教育法 I ※22社会科教育法 II ※22社会科、公民科教育法 I ※22社会科、公民科教育法 I ※22商業科教育法 I ※22商業科教育法 I ※22情報科教育法 I ※22情報科教育法 II ※22遺徳教育の理論と方法2特別支援教育概論※12特別大議教育機論※12特別活動及び総合的な学習の時間の指導法2教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教育相談2教育実習指導1教育実習指導1	教職論※1	2
教育心理学 I ※1 2 2 教育心理学 II ※1 2 2 教育社会学※1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	教育原理※1	2
教育心理学Ⅱ※12教育社会学※12教職課程論※12社会科教育法Ⅰ※22社会科教育法Ⅱ※22社会科・公民科教育法Ⅰ※22社会科・公民科教育法Ⅱ※22商業科教育法Ⅱ※22商業科教育法Ⅱ※22情報科教育法Ⅱ※22情報科教育法Ⅱ※22情報科教育法Ⅱ※22扩展教育の理論と方法2特別支援教育概論※12特別活動及び総合的な学習の時間の指導法2教育方法論2教育方法論2教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習(中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	教育史※1	2
教育社会学※1 教職課程論※1 2 社会科教育法 I ※2 社会科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2	教育心理学 I ※1	2
教職課程論※1 2 2 社会科教育法 I ※2 2 社会科教育法 I ※2 2 社会科教育法 I ※2 2 社会科・公民科教育法 I ※2 2 社会科・公民科教育法 I ※2 2 商業科教育法 I ※2 2 6 商業科教育法 I ※2 2 6 情報科教育法 I ※2 2 2 情報科教育法 I ※2 2 2 情報科教育法 I ※2 2 2 1 使教育の理論と方法 2 2 2 1 使教育の理論と方法 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3	教育心理学Ⅱ※1	2
社会科教育法 I ※2 社会科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2	教育社会学※1	2
社会科教育法 II ※2 社会科・公民科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 II ※2 商業科教育法 I ※2 商業科教育法 II ※2 情報科教育法 II ※2 情報科教育法 II ※2 情報科教育法 II ※2	教職課程論※1	2
社会科・公民科教育法 I ※2 社会科・公民科教育法 I ※2 商業科教育法 I ※2 商業科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「有報科教育法 I ※2 「立徳教育の理論と方法 特別支援教育概論※1 特別方援教育概論※1 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論 2 教育方法論 2 教育における I C T 活用※1 生徒・進路指導の理論と方法 教育相談 2 教職実践演習 (中・高) 教育実習 I 2	社会科教育法 I ※2	2
社会科・公民科教育法Ⅱ※2 商業科教育法Ⅱ※2 商業科教育法Ⅱ※2 情報科教育法Ⅱ※2 情報科教育法Ⅱ※2 這徳教育の理論と方法 特別支援教育概論※1 2 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論 教育におけるICT活用※1 生徒・進路指導の理論と方法 教育相談 2 教育規談 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 教育規談 2 表育規談 2 表育表記 2 表育規談 2 表育表記 2 表育規談 2 表育規談 2 表育実習指導 3 表育実習指導 4 表言実習日 2	社会科教育法Ⅱ※2	2
商業科教育法 I ※2	社会科・公民科教育法 I ※2	2
商業科教育法Ⅱ※2	社会科·公民科教育法Ⅱ※2	2
情報科教育法 I ※2 2 1 情報科教育法 II ※2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	商業科教育法 I ※2	2
情報科教育法Ⅱ※2	商業科教育法Ⅱ※2	2
道徳教育の理論と方法 特別支援教育概論※1 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論 教育におけるICT活用※1 生徒・進路指導の理論と方法 教育相談 教育実習指導 教育実習 I タ お育実習 I	情報科教育法 I ※2	2
特別支援教育概論※12特別活動及び総合的な学習の時間の指導法2教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習(中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	情報科教育法Ⅱ※2	2
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法2教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	道徳教育の理論と方法	2
教育方法論2教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	特別支援教育概論※1	2
教育におけるICT活用※12生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2
生徒・進路指導の理論と方法2教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	教育方法論	2
教育相談2教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	教育におけるICT活用※1	2
教職実践演習 (中・高)2教育実習指導1教育実習 I2	生徒・進路指導の理論と方法	2
教育実習指導 1 教育実習 I 2	教育相談	2
教育実習 I 2	教職実践演習 (中・高)	2
	教育実習指導	1
教育実習Ⅱ 2	教育実習 I	2
	教育実習Ⅱ	2

※1 共通一般教育科目

一般教育科目として卒業要件単位数に充当する。

※2 共通専門科目

- 01 この科目は、履修している該当教科を選択すること。
- 02 専門科目として卒業要件単位数に充当する。

博物館(学芸員)に関する科目

授業科目の名称	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3
考古学I	2
考古学Ⅱ	2
民俗学 I	2
民俗学Ⅱ	2

特設授業科目 (留学生のみ)

授業科目の名称	単位数
日本語(文法) I	1
日本語(文法) II	1
日本語(文法)Ⅲ	1
日本語(文法)IV	1
日本語(文字・語彙)	1
日本語(聴解) I	1
日本語(聴解) II	1
日本語(読解) I	1
日本語(読解) II	1
日本語(会話)	1
日本語 (作文)	1
日本語演習(日本語能力試験対策)	1
総合日本語演習 I (日本語能力試験対策)	1
総合日本語演習Ⅱ (日本語能力試験対策)	1

別表2

〔法学部〕

1. 法学科	
授業科目	単位数
法律学入門	2
基礎演習	4
研究演習	8
教養演習	4
データ分析	2
キャリア形成論	2

[経済学部]

1. 経済学科	
授業科目	単位数
経済学	2
ミクロ経済学	2
マクロ経済学	2
数学演習	2
経済学演習	2
基礎演習	2
研究演習	10
教養演習	4
経済学入門	2
データ分析	2
キャリア形成論	2

[経営学部]

1. 経営学科	
授業科目	単位数
経営学I	2
情報処理概論I	2
研究演習	12
教養演習	4
データ分析	2
キャリア形成論	2

2. 商学科	
授業科目	単位数
ビジネス概論 I	2
ビジネス概論Ⅱ	2
情報処理概論I	2
研究演習	12
教養演習	4
データ分析	2
キャリア形成論	2

学則別表3

制定日 2017 年 03 月 28 日 改正日 2022年 03 月 28 日 施行日 2022年 04 月 01 日

岡山商科大学 学部 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー(DP)

1. 学位授与の基本方針

岡山商科大学では、「教育理念」において社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ(文化的知性)を有する人材の育成をすることと定めており、これを具現化するために、次に示す「学力の3要素」の9評価項目に関して学修目標を達成した学生に対して、客観的な評価をし、学位を授与する。

なお、本学では就職率 100% を目指して、各学部学科では DP の 9 評価項目の到達目標を達成し、社会で活躍できる人材を育成する。

その際、各学部学科において、次に示す DP の 9 評価項目に関して、履修すべき科目、 単位、達成目標について示している。

2. DPで習得すべき「学力の3要素」の9評価項目

学力の3要素		事項	ディプロマ・ポリシー(DP)					
134 5	知 識	専門知識	DP1	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知 識の習得				
1	· 技 能	一般知識	DP2	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い 一般知識の習得				
思考		思考力	DP3	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の 習得				
表 現	判断力	DP4	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の習 得					
	力	会話·文章力	DP5	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外 国語能力の習得				
度(主体性・態度) 度(主体性・態度)	意欲·責任感	DP6	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責 任感の習得					
	T 1++	協調性	DP7	多様な人々と協調して主体的に活動するリー ダーシップの習得				
	ロ・ して 多	持続性	DP8	生涯にわたって学び続けようとする態度の習得				
	度が様な	倫理観	DP9	社会のルールを守る倫理観の習得				

3. 履修すべき科目と単位

3.1 法学部 法学科

下記の条件を満たす学修成果を上げれば、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

- (1) 法学科で何ができるようになるのか。
 - ① 知識•技能

法学、政治学の専門知識を習得する。汎用性のある基礎的能力を習得する。

② 思考力・判断力・表現力

法律の条文を解釈して簡易な法律上の問題を解決することができる。

③ 主体性・態度

法律や政治や行政に関心を持ち、専門知識を活かして社会に貢献することができる。

(2) 特に学位授与に必要な評価基準、資格等

特別な評価基準、資格等の指定はしていない。

(3) DPの9評価項目と学位授与に必要な科目群及び単位数との関係

学位を授与されるためには、以下に示す科目の単位数と学力の3要素を満たしていること。

ディブロマ・ポリシー(DP)と科目群 留意事項■ディブロマ・ボリシーを学力の3要素をふまえ9つの事項で具体的に示している。 ■ 各学部学科において科目群で達成する9つの事項を具体的に示している。 学科 法学科 一般教育科目 専門科目 教・専 左記の再掲 11 88 へポデ ペポイ 公務員コース 企業コース カの 位 接続科目 数 Dリプ 4 8 4 3 2 4 8 12 40 8 12 30 18 事 加 年次教育 地域社会 国際社会 Pシロマ 選自由選択科目 3 項 共通必修 問教 科 法律学入 3 研究 4 質 わずず 要 基礎 その 目 演習 履門修を DP1 法学に関する専 門知識の習得 0 0 0 00 00 識 00000 0 思 思考 0 00 00 0 0 0 判断力 0 DP4 0 0 0 0 00 00 カ 会話文章力 . 表 DP5 0 0 0 0 主体性主意欲任 DP6 0 0 0 00 協調性 間して主体的に 動するリー 0 0 DP7 0 0 3 様な持続 DP8 0 0 0 0 DP9 0 0 0 0 0

注意:必要単位数は一部簡略化して表示しています。詳細は履修細則で確認してください。

3.2 経済学部 経済学科

下記の条件を満たす学修成果を上げれば、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(1) 経済学科で何ができるようになるのか。

① 知識•技能

経済学に関する専門知識や技能のみならず、幅広く深い教養知識を習得する。

② 思考力・判断力・表現力

理論を踏まえて、私たちの直面する経済問題の解決策を作成することができる。

③ 主体性・態度

他人に共感できる感性をもち、社会と積極的にかかわっていく能力を身につけ、 社会に貢献することができる。

(2) 特に学位授与に必要な評価基準、資格等

大学院に進学できる程度の高度な経済学に関する専門知識を習得する。

(3) DPの9評価項目と学位授与に必要な科目群及び単位数との関係

学位を授与されるためには、以下に示す科目の単位数と学力の3要素を満たしていること。

ディプロマ・ポリシー(DP)と科目群 留意事項 ■ディブロマ・ポリシーを学力の3要素をふまえ9つの事項で具体的に示している。 ■各学部学科において科目群で達成する9つの事項を具体的に示している。 経済学科 学科 専門科目 分類 一般教育科目 左記の再掲 11 単 25 88 **〜ポイ** 位 力 接続科目 2 2 2 2 2 2 10 10 14 2 4 8 4 3 数 4 42 0 Dリプ Pシロ 2 共通必修科目 選択必修科目 自由選択科目 項 1 3 科 專門接続 科目群続 経経営商会法 F済済・市計学 基礎 養演習 目 字 攻 际 来 院 進 学 群学 詳学学情経 類類報経類 群 経済学に関する 専門知識の習得 専門知識 DP1 0 0000 0 0 00 00000 1 社会科学の確々 技 一般知識 0 0 00 0 0000 00 0 00 思考 0 0000000 0 00000 0 adadaa カ 社会事象を的確 に捉える洞察力 と判断力の習得 現判力断力 00 0 000000000 00000 000000 カ・表 DP5 確に表現・伝達 する日本語・外目 0 0 0000000 0 00000 addadac 語能力の習得 社会事象に積極 主意欲失性。 的に参加しようと する意欲と責任 DP6 0 0 0 0 aa a 感の習得 多様な人々と協 DP7 調して主体的に 活動するリー 0 0 0 0 0 aa 3 誰にわたって び続ようとする 00 DP8 0 0 0 施度の製作 社会のルールを DP9 守る倫理観の習 を倫理を観 0 0 0 0 0

注意:必要単位数は一部簡略化して表示しています。詳細は履修細則で確認してください。

3.3 経営学部 経営学科

下記の条件を満たす学修成果を上げれば、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(1) 経営学科で何ができるようになるのか。

① 知識•技能

経営学、会計学、情報・メディア学の知識を習得すると同時に、それらを関連付けられるような幅広い一般知識を習得する。

② 思考力・判断力・表現力

会社や組織等に内在する問題に対して、的確にアプローチをして問題解決策を提 案できる。

③ 主体性・態度

会社や組織に係わる問題を能動的に解決しようとする態度を身に付け、社会に貢献することができる。

(2) 特に学位授与に必要な評価基準、資格等

経営に関する問題について論理的に洞察した卒業論文の提出を必要とする。

(3) DPの9評価項目と学位授与に必要な科目群及び単位数との関係

学位を授与されるためには、以下に示す科目の単位数と学力の3要素を満たしていること。

ディプロマ・ポリシー(DP)と科目群 留意事項 ■ディブロマ・ポリシーを学力の3要素をふまえ9つの事項で具体的に示している。 ■各学部学科において科目群で達成する9つの事項を具体的に示している。 経営学科 学科 左記の再掲 21 205 21 82 学 ヘポィ Dリブ 位数 カ 接続科目 2 2 6 4 3 2 2 12 34 事 の 共通必修科目 Pシロ ししマ 1 2 3 項 問教 科 次教育 地域社会 国際社会 社会力育成科目群 2 研・究 概論I 択自 経 わ養ず専 要 養演習 科択 営学I 目 料由 目必 履門修を 年3演 日准 群 DP1 経営学に関する 専門知識の習得 専門知識 0 0 0 0 a 1 d 技 一般 知識 DP2 00000 0 0 0 0 0 思 思考 的、創造的に思 考する能力の習 0 DP3 0 0 0 0 0 0 0 カ 2 現計力 社会事象を的確 に捉える網察力 と判断力の習得 0 0 DP4 0 0 0 0 0 力会話 DP5 確に表現・伝達 する日本語・外国 会文力 0 0 0 0 0 文章 2 主体性を持って80様な人々と値 ・ 1 生体性・態度 | 操性 ・ 1 機関 ・ DP6 0 0 0 0 do0 0 調して主体的に 活動するリー DP7 0 0 0 0 0 学び続ようとする 0 0 0 0 0 DP8 在会のルールを 守る倫理観の習 DP9 0 0 0 0 0 d

注意:必要単位数は一部簡略化して表示しています。詳細は履修細則で確認してください。

3.4 経営学部 商学科

下記の条件を満たす学修成果を上げれば、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

(1) 商学科で何ができるようになるのか。

① 知識•技能

幅広い一般知識を基礎として、マーケティング、観光、企画開発・デザイン、ファイナンシャルプランニングの各分野に関する専門知識を、相互に関連付けながら習得する。

② 思考力・判断力・表現力

個人や企業、社会におけるビジネス上の課題に対し、専門的知見に基づいた解決 策を作成することができる。

③ 主体性・態度

主にフィールドスタディによって、個人や企業、社会におけるビジネス上の課題の解決に向け、多様な人々と協力して取り組む態度を身に付け、社会に貢献することができる。

(2) 特に学位授与に必要な評価基準、資格等

商学に関する問題について、理論的、実践的に洞察した卒業論文の提出を必要と する。

ファイナンシャルプランニングコースでは、ファイナンシャルプランニングの資格に必要な各種金融商品、不動産、税制等の幅広い知識に基づき、個人金融資産の分析を行い、それを人生設計に合わせて、資金プランや運用プランを適切に提案することができる知識、技能を習得する。

(3) DPの9評価項目と学位授与に必要な科目群及び単位数との関係

学位を授与されるためには、以下に示す科目の単位数と学力の3要素を満たしている こと。 ディプロマ・ポリシー(DP)と科目群

												・ハリン										
	学和	1		商学	科	Î	留意事:	項 📑	各学部等	学科にお	らいて科	学力の3要素 目群で達成	する9つ(の事項を具体	本的に示し	ている。),					
		·			分類									教·専 左			記の再掲					
学力			_	ディ ヘポイ	単位			2	21			82					21	H	Τ			
カの3要素	事		ポイリプ	数	4	2	2	6	4	3	4	2	12	22	42	1	初	能	接続科目			
	項				P ~	シロマ・	科目群	教養演習	1 専門接続	2 一般知識	社会注	③ カ育成科 シニケー	120.25	共選 概 ビ エ I ・ ス	M 必 概論 I I	2 研 4 · 究 演 子 音	選択必修科	自由選択科	問わず履修	年次参育	能動的学修	大学院進学 大学院進学
	知識	専門知識	DPI	商学に関門知識の	する専習得		0					0	0	0	0	0	0	C				
1	技能	一般知識	DP2	社会科学の問題を 捉える幅の 般知識の	的確に	0	0	0	0	0	0			0			0	C				
	思考ナ	思考力	DP3	社会事象 的、創造 考する能 得	を理論 的に思 力の習	0	0		0			0	0	0	0	0				0 0		
2	TH.	判断力	DP4	社会事象に捉えること判断力の	闸察力	0					0			0	0	0				0 0		
		文章	DP5	語能力の	伝達語・外国習得	0				0				0				C		0		
	- t	意 意 責 感	DP6	感の習得	しようと と責任	0								0					0	0 0		
主体性・態度)	体性・	特には	DP7	多様な人 調して主! 活動する ダーシッ	体的に リー	0					0			0				C		0 0		
	態度)様な人々	性	DP8	態度の習	うとする 得	0		0	0	0				0					0	0 0		
	1	上倫理 6観	DP9	社会のル 守る倫理	観の習	0								0				-1	0	0 0		

注意:必要単位数は一部簡略化して表示しています。詳細は履修細則で確認してください。

カリキュラム・ポリシー(CP)

1. 教育課程の基本方針

岡山商科大学では、「教育理念」に基づき社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ(文化的知性)を有する人材を育成するために、DPの9評価項目を考慮したカリキュラム、シラバス、評価方法を整備し、学生が学習できる体制を整えている。

なお、評価の指針(アセスメント・ポリシー)については、評価手段(試験、レポート、成果発表等)毎に、CP の 9 評価項目(○を付けた項目)について学習目標比率(%)を示すこととする。

2. 教育目標

岡山商科大学の掲げる「教育目標」は、「学力の3要素」に基づき、DPの9評価項目を 基準にして、CPの9評価項目を構成している。

- (1) 幅広い学習機会の提供(知識・技能) (思考力・判断力・表現力)(主体性・態度)
- (2) 専門学術の振興 鋭い洞察力と問題解決能力の修得 (知識・技能)(思考力・判断力・表現力)
- (3) 社会的人材の育成 社会での役割認識と積極的に取組む意識の理解(主体性・態度)

3. CPで学習すべき「学力の3要素」の9評価項目

CP の 9 評価項目では、**DP** の 9 評価項目の内容との一貫性を確保するために語尾の「習得」を「学習」にしている。

学力の3要素		事項	カリキュラム・ポリシー(CP)						
	知識	専門知識	CP1	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知 識の学習					
1	技能	一般知識	CP2	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い 一般知識の学習					
思考力·判断力·	思考力	СРЗ	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の 学習						
	現。	判断力	CP4	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学 習					
	力	会話·文章力	CP5	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外 国語能力の学習					
	て様主学な体性ポール	意欲·責任感	CP6	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責 任感の学習					
3 態度(主働)	· ** * * * *	協調性	CP7	多様な人々と協調して主体的に活動するリー ダーシップの学習					
	度と持つ協っ	持続性	CP8	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習					
	主働て体し多	倫理観	CP9	社会のルールを守る倫理観の学習					

4. 岡山商科大学の教育の特色

4.1 法学部 法学科

(1) 特色ある科目構成

法学科では、法学や政治学の専門知識を習得し、これらの専門知識を活かして主体的に社会に貢献することができる人材を育成することを目標としている。そのために、以下の科目と単位数を修得することを必要とする。

① 一般教育科目

特定の知識に偏ることなく、総合的な知識(一般知識)を身につけ、バランスのとれた思考能力や協調性や倫理性を養うために、一般教育科目群から 25 単位(うち必修科目 8 単位と選択必修科目 17 単位)以上を修得すること。

必修科目は、「教養演習」のほか、社会参加や職業への意識を高め、育成していくために「データ分析」「キャリア形成論」を修得すること。(表現力、意欲・責任感、倫理観)

② 専門科目

法学、政治学に関する専門的な知識や技能を習得するために、設定している専門科目から 88 単位(うち共通必修科目 14 単位、選択必修科目 12 単位)以上を修得すること。(専門知識)

③ 演習科目

表現力やコミュニケーション能力の育成とともに、大学生としての基礎的な知識と基本的な学習能力の習得を目指し、1年次から必修科目として設置している演習科目(教養演習、基礎演習、研究演習(3年)、研究演習(4年))16単位を修得すること。(思考力、判断力)、(意欲・責任感、協調性、持続性、倫理観)

④ 初年次教育科目

(a) 教養演習

初年次 1 年間を通して、文章を読み理解する力、表現する力、要約する力等を養い、大学での学習の仕方を修得する。また集団による討論を通じて、プレゼンテーション能力を養い、グループ学習を通じて、コミュニケーション能力、責任感、協調性を養う。

(b) 法律学入門

はじめて法律学を学習する学生のために、法律を学ぶ際に基礎となる事項を講義し、学生が、法律についての基礎的な用語を理解し、使いこなせるようにする。 また歴史や経済学などの隣接学問分野との関係を知り、法律専門科目とあわせて、 それらの分野の学修計画を自ら考えていく力を養う。(専門知識、思考力、判断力)

⑤ 地域社会、国際社会、産業界等の社会との接続科目

(a) 警察と法

将来警察官や、消防士を目指す学生のための講義科目であり、警察学校の校長や、警察署長等を務めた警察官 OB が講師を務め、警察官が日常行っている防犯活動や犯罪捜査等の実態について、法的根拠を踏まえて説明する。また現職の警察官や消防官をゲストスピーカーとして招き、警察官や消防士の日常の生活や、仕事のやりがい等について講義し、警察官や、消防士になろうとする意欲を醸成する。(専門知識、意欲・責任感)

⑥ 大学院教育との接続科目

特になし。

⑦ 能動的学修の充実科目

法学部の複数のゼミで、刑務所見学、裁判所見学等を行い、社会事象に積極的 に参加しようとする意欲と責任感を養う。

(2) PDCA サイクル

教員各自の成績評価と学科、科目群での評価の在り方について示す。

① 教員個人での PDCA

各科目の評価は、教員各位で実施する。

② 科目群、学科、学部での PDCA

科目群、学科、学部で、合格率を含めて評価を実施する。

(3) DP、CPの9評価項目と授業科目の特色を示すカリキュラムマップ

科目ごとのシラバスに授業の目的、到達目標(60点を達成)、授業形態(講義、演習、実験、実習・実技)、授業方法(受動型、アクティブラーニング、フィールドスタディ、問題解決型、その他)と学習させたい CPの9評価項目の関係を示している。

また、特色ある教育内容については、初年次教育科目、接続科目(地域社会、国際社会、産業界、大学院進学)の項目を設け、該当に〇印を付け示している。

- ① 科目の教育目標から、この科目で学習させる主たる CP の 9 評価項目に○印を付け、その重要度を示している。
- ② 授業計画から、〇印を付けた CPの 9評価項目の学習目標値を%で表示している。 評価方法に記載した評価手段(試験、レポート、小テスト、成果発表等)ごとに、 〇印付けた CPの 9評価項目に評価の程度を%で表示している。

4.2 経済学部 経済学科

(1) 特色ある科目構成と履修すべき科目

経済学科では、経済の基礎知識から経済学の理論及びその応用あるいは歴史などの専門的内容までを体系的に学び、経済全体に生じる問題を発見する力やその解決方法について考える力を身につけることを目標としている。そのために、経済学科では、以下の科目と単位数を修得することを必要とする。

① 一般教育科目

「考える力」の基盤となり、経済学について、専門的に学んでいくための基本的な知識として必要となる一般教育科目群から 25 単位(うち必修科目 10 単位と選択必修科目 15 単位)以上を修得すること。必修科目は、「教養演習」、「経済学入門」、「データ分析」、「キャリア形成論」である。(一般知識)

② 専門科目

経済学に関する専門的な知識や技能を修得するために設定している専門科目 群から 88 単位(うち必修科目 22 単位と選択必修科目 24 単位)以上を修得する こと。(専門知識)

コア科目として一般教育科目(専門接続科目)の「経済学入門」と専門科目の「経済学」・「ミクロ経済学」・「マクロ経済学」の合計 8 単位を必修科目として履修し、単位を修得すること。(専門知識)

③ 演習科目

表現力やコミュニケーション能力の育成とともに、大学生としての基礎的な知識と基本的な学習能力の習得を目指し、1年次から必修科目として設置している演習科目(教養演習、基礎演習(2年前期)、研究演習(2年後期)、研究演習(3年)、研究演習(4年))16単位を修得すること。(思考力・判断力・表現力)、(意欲・責任感、協調性、持続性、倫理観)

④ 初年次教育科目

学生の学びのスタイルを大学での「自主的な学び」へスムーズに適応できるように、また「教養演習」を専門教育へ橋渡しするために基礎的な知識や能力をレベルアップできるように、「経済学演習」と「数学演習」を必修化している。

⑤ 地域社会、国際社会、産業界等の社会との接続科目

地域社会や国際社会との接続を意識し、地域づくりや産業振興等を中心とした 講義「地域政策」、「岡山経済分析」や「アジア経済分析」等、また、金融機関へ の就職を意識し、外部講師が講義する「金融リテラシー講座(基礎編)」(一般教 育科目)、「金融リテラシー講座(応用編)」(専門科目)等を用意している。

⑥ 大学院教育との接続科目

大学院との接続を意識し、経済理論(ミクロ経済学およびマクロ経済学)を中心とした講義「特別演習」を用意している。

⑦ 能動的学修の充実科目

「教養演習」、「基礎演習」、「研究演習(2年・3年・4年)」では、それぞれ開

催されるゼミ対抗プレゼンテーション大会への参加を通じて、能動的学修能力の 向上が図れるようにしている。

(2) PDCA サイクル

教員各自の成績評価と学科、科目群での評価の在り方について示す。

① 教員個人での PDCA 各科目の評価は、教員各位で実施する。

② 科目群、学科、学部での PDCA 科目群、学科、学部で、合格率を含めて評価を実施する。

(3) DP、CPの9評価項目と授業科目の特色を示すカリキュラムマップ

科目ごとのシラバスに授業の目的、到達目標(60 点を達成)、授業形態(講義、演習、実験、実習・実技)、授業方法(受動型、アクティブラーニング、フィールドスタディ、問題解決型、その他)と学習させたい CP の 9 評価項目の関係を示している。また、特色ある教育内容については、初年次教育科目、接続科目(地域社会、国際社会、産業界、大学院進学)の項目を設け、該当に〇印を付け示している。

- ① 科目の教育目標から、この科目で学習させる主たる CP の 9 評価項目に○印を付け、その重要度を示している。
- ② 授業計画から、〇印を付けた CPの9評価項目の学習目標値を%で表示している。
- ③ 評価方法に記載した評価手段(試験、レポート、小テスト、成果発表等)毎に、○ 印付けた CP の 9 評価項目に評価の程度を%で表示している。

4.3 経営学部 経営学科

(1) 特色ある科目構成と履修すべき科目

経営学科は、経営、会計、情報・メディアの3コース制を敷いており、自分の興味 関心に応じてそのコースの専門分野を学ぶことができる。

従来の会計コースとは別に1年次より会計学の学習を重点的に行い、より高度な会計の専門的能力の修得を促進するために会計専門コースを設置している。同コースでは、会計学に関する職業に関心を持たせ、会計専門コースでの学習を卒業後のキャリアにつなげることができるように、目的意識を明確にし学習意欲の向上を狙った「会計学基礎 I、II」を設置している。

また、「岡山経営者論Ⅰ、Ⅱ」においては、地域で実際に活躍している経営者を招聘し講義を、「税理士による租税講座」(中国税理士会による寄付講座)においては、会計分野の職業専門家により講義を、行ってもらうことで実学教育を行っている。なお、経営学科では、以下の科目と単位数を修得することを必要とする。

① 一般教育科目

「考える力」の基盤となり、経営学について専門的に学んでいくための基本的な一般知識として必要となる一般教育科目群から21単位(うち必修科目8単位と選択必修科目13単位)以上を修得すること。必修科目には、「教養演習」、「データ分析」及び「キャリア形成論」がある。(一般知識)

② 専門科目

経営学に関する専門的な知識や技能を修得するために設定している専門科目 群から82単位以上を修得すること。その内訳は、必修科目16単位、選択必修科目34単位、これら以外の自由選択科目が32単位となっている。(専門知識)

基礎的専門知識を習得するため設置されている共通必修科目としては、「経営学 I」、「情報処理概論 I」がある。これら 2 科目の合計が 4 単位、研究演習(2 ~4 年)が合計 12 単位、合わせて 16 単位を必修科目として履修し、単位を修得すること。(専門知識)

③ 演習科目

表現力やコミュニケーション能力の育成とともに、大学生として求められる基礎的な知識と学習能力の習得を目指し、1年次から必修科目として「演習」を設置している。1年生は「教養演習」で、思考力・判断力・表現力,意欲・責任感,協調性,持続性,倫理観を身に着ける。2年生からの研究演習では、専門を学び4年生に卒業論文を作成する。(思考力・判断力・表現力)(意欲・態度,協調性,持続性,倫理観)

④ 初年次教育科目

⑤ 地域社会、国際社会、産業界等の社会との接続科目

社会、産業界と連携を深める科目としては、(一社)岡山経済同友会の協力を得て、岡山県内の企業経営者自らが教鞭を執る「岡山経営者論 I、II」を展開している。また、中国税理士会による寄付講座として「税理士による租税講座」を開講することで、会計学分野の専門職業に関する実務的知識の学習機会を提供している。

会計専門コースでは、会計学の知識を活用できる公務員である国税専門官に関する理解を深めるために税務署見学や講演会を実施している。さらに、旧・商学部・経営学部出身の税理士を組織化した「商税会」の協力を得て、会計学教育を拡充している。

⑥ 大学院教育との接続科目

特別な科目は用意していない。

⑦ 能動的学修の充実科目

「岡山経営者論Ⅰ、Ⅱ」等では、アクティブラーニング方式の講義を展開している。

また、会計専門コースでは、就職支援の一環として、税理士事務所インターンシップに1年生から参加できるようにしている。

(2) PDCA サイクル

教員各自の成績評価と学科、科目群での評価の在り方について示す。

① 教員個人での PDCA

各科目の評価は、教員各位で実施する。

② 科目群、学科、学部での PDCA

科目群、学科、学部で、合格率を含めて評価を実施する。

(3) DP、CP の 9 評価項目と授業科目の特色を示すカリキュラムマップ

科目ごとのシラバスに授業の目的、到達目標(60 点を達成)、授業形態(講義、演習、実験、実習・実技)、授業方法(受動型、アクティブラーニング、フィールドスタディ、問題解決型、その他)と学習させたい CP の 9 評価項目の関係を示している。また、特色ある教育内容については、初年次教育科目、接続科目(地域社会、国際社会、産業界、大学院進学)の項目を設け、該当に〇印を付け示している。

- ① 科目の教育目標から、この科目で学習させる主たる CP の 9 評価項目に○印を付け、その重要度を示している。
- ② 授業計画から、〇印を付けた CP の 9 評価項目の学習目標値を%で表示している。
- ③ 評価方法に記載した評価手段(試験、レポート、小テスト、成果発表等)毎に、○ 印付けた CP の 9 評価項目に評価の程度を%で表示している。

4.4 経営学部 商学科

(1) 特色ある科目構成と履修すべき科目

商学科では、ビジネスの専門知識や技能を習得し、産業界や地域振興に貢献できる 人材の育成を目標としている。そのために、マーケティング、観光、企画開発・デザイン、ファイナンシャルプランニングの4コース制を敷き、実践力を養うためのフィールドスタディをはじめ、以下の科目と単位数を修得することを必要とする。

① 一般教育科目

「考える力」の基盤となり、商学について専門的に学んでいくための基本的な知識と社会参加や職業への意識、および語学、データ分析力など社会力を育成していくために必要となる一般教育科目群から21単位(うち必修科目8単位と選択必修科目13単位)以上を修得すること。必修科目には、「教養演習」、「データ分析」及び「キャリア形成論」がある。(一般知識)(表現力)(意欲・責任感,倫理観)

② 専門科目

商学に関する専門的な知識や技能を修得するために設定している専門科目群から82単位(うち必修科目18単位と選択必修科目22単位)以上を修得すること。(専門知識)

いずれのコースにおいても、ビジネスの基礎となる「ビジネス概論 I 」、「ビジネス概論 I 」、「情報処理概論 I 」(専門科目)の合計 6 単位を必修科目として修得すること。(専門知識)

③ 演習科目

表現力やコミュニケーション能力の育成とともに、大学生としての基礎的な知識と基本的な学習能力の習得を目指し、1年次から必修科目として設置している演習科目(教養演習、研究演習(2年)、研究演習(3年)、研究演習(4年))16単位を修得すること。(思考力・判断力・表現力)(意欲・責任感、協調性、持続性、倫理観)

④ 初年次教育科目

大学における本格的な専門科目の学修にスムーズに入れるようにスタディスキルズ等を習得する「教養演習」を必修としている。また、習熟度クラスも導入し、「マーケティング入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「経済入門 I 」、「商学のための数学入門」、「簿記入門」、「企業分析入門」、「ビジネスコミュニケーション入門」、「ビジネスリサーチ入門」、「コミュニティビジネス入門」、「ビジネス概論 I 」、「ビジネス概論 I 」(専門科目)の合計 24 単位を用意している。(注:ビジネス概論 I ・I については、同じ科目名でそれぞれ習熟度に合わせた 2 クラスを用意)

⑤ 地域社会、国際社会、産業界等の社会との接続科目

地域社会や産業界等の接続を意識し、地域づくりや観光振興等の実践者を中心とした講義「観光振興論特殊講義」や、適宜ゲストが講義をする「地域マーケティング I」、「地域マーケティング I」、「地域マーケティング I」、

⑥ 大学院教育との接続科目

特別な科目は用意していない。

⑦ 能動的学修の充実科目

「観光サービス実習」、「テーマパークデザイン論」、「観光地計画論」、「博物館 実習」は、フィールドスタディ科目として国内外のフィールドに出かけ、能動的 学修能力の向上が図れるようにしている。

(2) PDCA サイクル

学科

教員各自の成績評価と学科、科目群での評価の在り方について示す。

- ① 教員個人での PDCA 各科目の評価は、教員各位で実施する。
- ② 科目群、学科、学部での PDCA 科目群、学科、学部で、合格率を含めて評価を実施する。

(3) DP、CPの9評価項目と授業科目の特色を示すカリキュラムマップ

科目ごとのシラバスに授業の目的、到達目標(60 点を達成)、授業形態(講義、演習、実験、実習・実技)、授業方法(受動型、アクティブラーニング、フィールドスタディ、問題解決型、その他)と学習させたい CPの9評価項目の関係を示している。また、特色ある教育内容については、初年次教育科目、接続科目(地域社会、国際社会、産業界、大学院進学)の項目を設け、該当に〇印を付け示している。

- ① 科目の教育目標から、この科目で学習させる主たる CP の 9 評価項目に○印を付け、その重要度を示している。
- ② 授業計画から、〇印を付けた CP の 9 評価項目の学習目標値を%で表示している。
- ③ 評価方法に記載した評価手段(試験、レポート、小テスト、成果発表等)毎に、○ 印付けた CP の 9 評価項目に評価の程度を%で表示している。

カリキュラムマップ

教育課程の 岡山商科大学の教育理念に基づき社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ

				授業形態		授業方法		27	被 接続科目	1	Annana A	学部・学科 カリキュラム・ポリシー(CP) 知識・技能 思考・料紙・表現カ 主体性・態度													
		222 233	到達目標			W 15		~ 101	- A	10	16 D 大		評価	知識 CP1	CP2	CD3	CDA	CDS	CP6 C						
科目名		授業の目的	(60点)	換	演実管験	受験を	ファラティイ	担解決型	次教育	地域社会	山際社会 産業界	学院進学	手段	専門知	ー 激射 知	思考力	判断力		責任抵		持続性	倫理師			
			5	П			П			П		Τ	到達目標	•	2 8	•	•	•			•				
				Ш						Ш		Γ	学習目標(比率)	60%		10%	10%	15%			5%				
	0000000			Ш						Ш		1	資 汽车		1										
										Ш		1	小テスト												
1	l			•			•	•		Ш	•	ľ	2 レポート 95%	60		10	10	15							
	10			ш						Ш		-	成果発表												
	担当者						Ш			ŀ	北 安謀態度 5%								5						
	a l								Ш			その他													
_						\top		+			†	對達目標		•			•			•	•				
				Ш					ш				学習目標(比率)		60%			20%			5%	15			
	ΔΔΔΔΔΔΔ	ΔΔΔΔ					į	学 試 数 75%		60							15								
2							<u> </u>	2	•	•	•	1	小テスト												
-				1				•				1	タレボート 20%					20							
担当者	ie.			ш												ŀ	成果発表								
	5			ш													型 受講態度 5%								5
	14			\perp					1	Ш		1	一その他												
	100											_	到達目標			1,11				46.00					

4.5 一般教育科目

(1) 一般教育科目群および教育目的

本学の一般教育科目は、以下の3群に分けられ、教育目的に従って、本学の学生としての基礎知識を学習する。

(2) 科目群毎の教育目的

			単位	立数	
科目群	教育目的	法学部	経済学部	経営	学部
		法学科	経済学科	経営学科	商学科
一般教育科目	大学生活を通じて、学生一人一人が生涯にわたり人を豊かにするための「教養」と「社会人として必要は基礎知識・技能」を身に付けることを目的とする。 ただし、1、2年次には、「専門教育を学ぶための基礎的な知識」の修得も目的とする。 これらの科目を一般教育科目といい、3つのポリシーに基づき、「学力の3要素」に従って、次の科目群で構成されている。	21単位	21単位	17単位	17単位
1. 専門接続科目群	専門科目に関する動機付けや、広く専門性を学ぶ科目とする。	2単位	2単位	2単位	2単位
2. 一般知識科目群	教育、文化、芸術、地理、歴史、自然について学ぶ科目とする。	4単位	4単位	2単位	2単位
3. 社会力育成科目群		2.	22		
3.1 共通知識科目群	全学科共通に学ぶ科目とする。	8単位	8単位	6単位	6単位
3.2 コミュニケーション 科目群	コミュニケーション能力を高める科目とする。	4単位	4単位	4単位	4単位
3.3 心と体の健康 科目群	UNIVASに基づいた健康に関する知識を学ぶ科目とする。	3単位	3単位	3単位	3単位

4.6 教職課程

(1) 教育目的

教職課程は、中学校あるいは高等学校の教育職員(以下教職と略す)免許状取得のための課程である。新たな時代の教職には、教科ごとの専門的知識とともに、情報化や国際化の進展や学校教育に巡る諸問題に対応できる高度な資質能力と強固な意志が求められている。このため、将来教員になることを目指す人は、4つの学科ごとに設けられているこの課程を履修することが必要であり、通常の学科コース(主コース)に加え、副コースとして教職コースに所属し、教員としての資質を養うことを目的に教職担当教員の指導のもと学習を行う。

(2) 学部学科と取得できる教育職員免許状の種類および教科

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
>+ >> +0	2+ 24 ±V	中学校教諭一種免許状	社 会
法 学 部	法 学 科	高等学校教諭一種免許状	公 民
40 1 41 244 140	\$2 1 4 24 €1	中学校教諭一種免許状	社 会
経済学部	経済学科	高等学校教諭一種免許状	公 民
経営学部	&Z 577 577 ±/1	宣告的 医多种	商業
	経営学科	高等学校教諭一種免許状	情 報
	商学科	高等学校教諭一種免許状	商業

4.7 学生による評価

授業評価アンケート(年 2 回)を定期的に実施することにより、学生の視点から講義内容を評価し、全学教職員に状況を広報するとともに評価の高い教員を「GP 表彰」し、教育方法の発表を行っている。

(1) 授業評価アンケート

① アンケート項目

学生の学習時間、学習態度、教員の講義への取組態度等の 20 項目

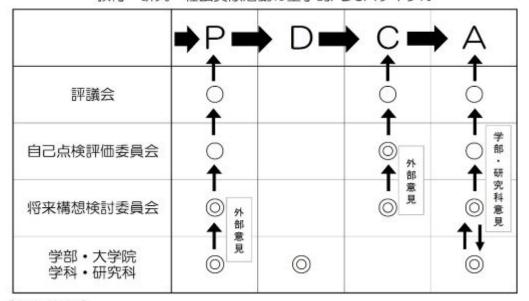
② アンケートの集計

集計科目:教養科目、専門科目、演習科目

集計項目:科目群、学科、学部

(2) 全学的 PDCA サイクル

教育・研究・社会貢献活動の全学的PDCAサイクル



【外部意見】

- ①教育・研究協議会における外部有識者の意見
- ②保護者懇談会における保護者の意見
- ③高校訪問時の意見収集
- ④商業教育についての意見交換会における商業高校の意見
- ⑤ 文部科学省各種答申
- ⑥RB(リサーチブランディング) 分野別研究成果のカリキュラムへの反映

アドミッション・ポリシー(AP)

1. 入学者受け入れの基本方針

岡山商科大学では、「教育理念」に示す社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ(文化的知性)を有する人材を育成することと定めており、これを具現化するために、高大連携アドバイザーによるきめ細かな情報伝達、各種特待生制度を設け、以下の入学試験により、意欲を持つと共に、多様な能力や目的を持った入学生を募集しています。

2. AP における「学力の3要素」の9評価項目(求める学生像)

 ${
m CP}$ との整合性を保つため、 ${
m AP}$ の ${
m 9}$ 評価項目は ${
m CP}$ の ${
m 9}$ 評価項目の説明内容の「学習」を入学学生の「学びたい」にしています。

学	力の3要素	事項	事項 アドミッション・ポリシー(
	知識	専門知識	AP1	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知 識を学びたい					
1	· 技 能	一般知識	AP2	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い 一般知識を学びたい					
	思考力・判断	思考力	AP3	社会事象を論理的、創造的に思考する能力を 学びたい					
2		判断力	AP4	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力を学 びたい					
	力	会話·文章力	AP5	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外 国語能力を学びたい					
	て様主	意欲·責任感	AP6	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責 任感を学びたい					
•	いハエ	協調性	AP7	多様な人々と協調して主体的に活動するリー ダーシップを学びたい					
3	態度の協力を持つ	持続性	AP8	生涯にわたって学び続けようとする態度を学び たい					
	主働で体し多	倫理観	AP9	社会のルールを守る倫理観を学びたい					

3. 学科別求める学生像

各学部学科では以下の人を求めます。

3.1 法学部 法学科

- (1) 知識•技能
 - (1) 法学、政治学を学ぼうとする意欲のある人。
 - ② 一般的な広い知識を学ぼうとする意欲のある人。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - (1) 法律上の問題や紛争を解決する力を養おうとする意欲のある人。
- (3) 主体性・態度
 - (1) 高い志をもって社会に貢献したいという意欲のある人。

3.2 経済学部 経済学科

- (1) 知識•技能
 - (1) 本学部の教育を受けるのに必要な基礎学力を備えている人。
 - ② 高等学校での正課・課外に主体的に取り組み、優れた実績をあげた人。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ① 地域社会や国際社会の活性化に取り組む意欲のある人。
 - ② 社会が培った文化や社会の将来に関心を持っている人。
- (3) 主体性 態度
 - (1) チャレンジ精神を持ち、困難なことに取り組む意欲ある人。
 - ② 他者を尊重し、豊かな人間関係を作る意志のある人。

3.3 経営学部 経営学科

- (1) 知識•技能
 - (1) 経営学、会計学、情報・メディア学に加え、それらを活用し社会に貢献できる人。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ① 社会変化、とりわけビジネス現象に関心を持ち、経営的視点から洞察しようとする意欲のある人。
 - ② できるだけ早く将来の進路を決定し、仕事を通じて自分が成長するだけではなく、 社会に貢献しようとする強い意志を持つ人。
 - ③ コミュニケーション能力の向上に努める人。
- (3) 主体性・態度
 - ① 自発的、創造的かつ、リーダーシップを発揮できる人材として成長しようとする 強い意志を持つ人。

3.4 経営学部 商学科

3.4.1 商学科

- (1) 知識•技能
 - ① マーケティング、観光、企画開発・デザインに関する知識・技能を学ぶ意欲のある人。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ① 情報革新とグローバル化に対応したビジネスエキスパートに必要な思考力・判断力・表現力を養う意欲のある人。
- (3) 主体性 態度
 - ① 高い目標意識と将来の志望を持ち続け学ぶ意志のある人。

3.4.2 商学科 ファイナンシャルプランニングコース

- (1) 知識•技能
 - ① パーソナルファイナンスを中心として金融諸理論を勉強し、2級 FP 技能士・AFP 等の資格取得を目指す人。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ① 金融に関する諸問題、特に個人の資産形成に対して的確なアドバイスができる思考力・判断力・表現力を養う意欲のある人。
- (3) 主体性・態度
 - (1) 高い目標意識と将来の志望を持ち続け学ぶ意志のある人。

4. 高等学校段階で習得・経験しておくことが望ましい事項

- (1) 知識•技能
 - (1) 高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得している。
 - ② スポーツ、音楽等の技能、特定分野の資格を習得している。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ① 物事を多面的に思考し、判断し、まとめて自己表現をした経験を有する。
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ① 社会の諸問題に関心を持ち、主体的に他者とかかわり、対話を通して相互理解をする活動に参加した経験を有する。

5. 岡山商科大学の入試区分と AP との関係

入試区分の入試の目的、受験科目、APの9評価項目との関係は、入試区分マップで示しています。

(1) 岡山商科大学入試区分マップ

岡山商科大学入試区分とAP9項目との関係

教育課程の基本方針(CP)	教育目標	受け入れの基本方針(AP)
岡山商科大学の教育理念に基づき社会事象を的 確に捉え、分析し、創造的に問題を解決すること ができ、かつ、心豊かご文化的知性を有する人 材を、ディブロマポリシーを満たすよう育成する。	 専門学術の振興(知識・技能) 鋭い洞察力と問題解決能力の修得(思考力・判断力・表現力) 社会の人材の育成 社会での役割認識と積極的に取組む意識の理解 (主体性・態度) 	各学部・学科では以下の知識、能力を学ほうとする人材を求めています。 1. 法学部法学科 基本的な法知識と解釈能力 2. 経済学部経済学科 経済に関する専門知識 3. 経資学部経営学科 企業という組織の中で貢献できる能力 4. 経営学部商学科 ビジネスにおける総合理解力と専門的実行力

		L		ビジネン	スにおい	ける総合	う理解	力と専門	的実行	カ		
					学部	·学科	7	アドミッシ	ョン・オ	ドリシ-	-(AP)	
				知識	·技能	思考	·判断·	表現力	8	主体的	主·態度	Ę
				AP1	AP2	АР3	AP4	AP5	AP6	AP7	AP8	AP9
	入試区分	入試の特徴	出題内容等	専門知識	般知識	思考力	判断力	会話・文章力	意欲・責任感	協調性	持続性	倫理観
1	【総合型選抜】 ◎AO型 ◎自己推薦型	本学への強い志望動機を持って受験する者を 対象とした人試です。 人間性や性格、柔軟性や常識の程度を判断 するため、口頭試問、小論文により、思考力(A P3)、会話・文章力(AP5)、意欲・責任感(AP 6)を評価します。	小論文(事前選考) 面接・口頭試問(事前選考) 面接・口頭試問 プレゼンテーション・面接 志望理由書		0 0 0	000000	0 0 0	00000	0 0000	0 0 0		0
			調査書	_	0						0	
2	【学校推薦型選抜】 ②指定校推薦入試 ②指定校推薦 編入学試験	本学指定校から推薦を受けた者を対象とした 入試です。 人間性や性格、柔軟性や常識の程度を判断 するため、面接、調査書により、一般知識(AP 2)、思考力(AP3)、会話・文章力(AP5)、意 後、責任級(AP6)を評価します。	志望理由書 面接·口頭試問 推薦書 調査書		0 0	0	0	0	00	0	0	0
3	【学校推薦型選抜】 ◎専門能力推薦入 試A(一般型) ◎専門能力推薦入 試B(部活動スポー ツ推薦型)	高等学校で学んだ秀でた知識、技能等を有 する者のための入試です。 人間性や性格、柔軟性や常識の程度を判断 するため、面接、自己推薦書により、専門知識 (AP1)、意欲・責任感(AP6)を評価します。	志望理由書 基礎学力テスト(国語総合)(Aのみ 面接・口頭試問(A・B共通) 出願資格確認書 調査書	0 0	0 0 0	0	0	0 0	0	0	0	0
4	【学校推薦型選抜】 ◎一般公募制推薦 入試	本学の基礎学力テストにより高校生として学んだ知識により受験する入試です。 基礎学力テスト(筆記試験を含む)により、主に 基礎となる一般知識(AP2)を評価します。	基礎学力テスト(国語) 基礎学力テスト(英語) 基礎学力テスト(数学 I・A) 小論文(後期のみ) 調査書 推薦書		0 0 0	0	0	0		0	0	0
5	【一般選抜】 ◎一般入試	得意な選択科目2科目により高校生として学 んだ知識により受験する入試です。 筆記試験により、主に基礎となる一般知識(A P2)を評価します。 実用英語技能検定またはTOEICの資格取得 者について、取得している級/スコアにより本学 入試、英語の試験において取得した点数と比べ 高い方の得点を選抜に用います。	コミュニケーション英語 I・II 国語総合(現代文) 世界史B 日本史B 現代社会		0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0 0	0	0	0	0	0
6	【一般選抜】 ◎大学入学共通 テスト利用入試	大学入学共通テスト利用入試を受験した者の ための入試です。 高校時代にどの程度の知識を身につけている かを判断するため、筆記試験により、主に基礎と なる一般知識(AP2)を評価します。	国語、地理歴史・公民、数学、理 科、 外国語(英語はリスニングを含む)の		0							
7	編入学試験 (2年次、3年次)	本学の2年又は3年次に編入を希望する者のための入試です。 小論文、面接により、思考力(AP3)、会話・文章力(AP5)、意欲・責任感(AP6)を評価します。	英語 小論文 面接·口頭試問 調查書 成績証明書 推薦書		0 0 0	0	0	0	0	0	0	0
8	社会人入学試験(1 年次、3年次)	社会人を対象とした入試です。 小論文、面接により、思考力(AP3)、会話・文章力(AP5)、意欲・責任感(AP6)を評価します。	小論文 面接·口頭試問 志望理由書 成績証明書		0 0 0	0 0 0	0	0	0	0		0
9	私費外国人留学生 国内入学試験 (1年次、3年次)	外国の国籍を有し、外国において通常の課程 による12年の学校教育を修了した者を対象とし た入試です。 日本語、基礎的英語により、基礎となる一般知 識(AP2)を、小論文、口頭試問で思考力(AP 3)、会話・文章力(AP5)、意欲・責任感(AP6) を評価します。	日本留学試験日本語200点以上で免除 基礎的英語		0 0 0 0 0	0 0 0	0 0	0 0 0	0	0	0	0

岡山商科大学専門科目、一般教育科目の体系

専門科目

目 的: 各学科での専門知識を学ぶ科目とする。

次の科目群で構成されている。

共通必修科目群: 指定した年次で必ず履修する科目とする。

選択必修科目群: この科目群の中から自分の目的に合った必修科目を選択できる。

自由選択科目群: この科目群の中から自分の目的に合った科目を選択できる。

その他選択科目群

一般教育科目

目 的: 大学生活を通じて、学生一人一人が生涯にわたり人を豊かにするための「教養」と「社会人として必要な基礎知識・技能」を身に付けることを目的とする。 ただし、1,2年次には、「専門教育を学ぶための基礎的な知識」の修得も目的とする。 これらの科目を一般教育科目といい、3つのポリシーに基づき、「学力の3要素」に従って、次の科目群で構成されている。

1. 専門接続科目群 : 専門知識に関する動機付けや、広く専門性を学ぶ科目とする。

2. 一般知識科目群 : 教育、文化、芸術、地理、歴史、自然について学ぶ科目とする。

3. 社会力育成科目群

3.1 共通知識科目群 : 全学科共通に学ぶ科目とする。

3.2 コミュニケーション科目群: コミュニケーション能力を高める科目とする。

3.3 心と体の健康科目群 : UNIVASに基づいた健康に関する知識を学ぶ科目とする。

専門科目、一般教育科目の区分と科目群名

区分	科目群名
	その他選択科目群
専門科目	自由選択科目群
	選択必修科目群
	共通必修科目群
	教養演習
	1. 専門接続科目群
	2. 一般知識科目群(教文芸地歴自)
一般教育科目	3. 社会力育成科目群
	3.1 全学共通知識科目群
	3.2 コミュニケーション科目群
	3.3 心と体の健康科目群

岡山商科大学 基本方針

建学の精神

中正な思想を涵養し、広い視野をもって社会に貢献しうる人 物の養成

学問と真理とに対して謙虚な情熱と不屈のファイトをもつ人物 の養成

産業の現実に関心を持ち、文化的知性をそなえ、創造的に 社会の発展を指向する人物の養成

教育理念

社会事象を的確に捉え、分析し、解決する能力を備えた 心豊かな人材の育成

1 大学の目的 (学則第1条)

建学の精神及び教育理念に基づき、法律、経済及び経営に 関する専門的学術の教授、研究及び社会貢献によって、社 会、国家及び人類のために、有為な人材を育成すること。

2 教育研究上の目的 (学則第1条の2)

各学部・学科の教育研究上の目的及び人材養成に関する目的を次の 通り定める。

法学部法学科

法学、政治学に関する理論的・実践的な教育研究を行い、法学、政治学の専門知識を活かして社会に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

経済学部経済学科

経済学に関する理論的・実証的な教育研究を行い、これにより経済学に関する知識と、問題を解決するために必要な能力を有する人材を養成することを目的とする。

経営学部経営学科

経営学、情報・メディア学及び会計学に関する教育研究を行い、社会、 とりわけ企業という組織の中で創造的に貢献できる能力を持った人材を育 成することを目的とする。

経営学部商学科

商学に関する理論的・実践的な教育研究を行い、企業や社会における ビジネス上の課題を解決できる能力を持った人材を育成することを目的と する。

3 3つのポリシー (学則第1条の3)

D ディプロマポリシー(DP)

社会人力の習得

思考・判断・表現力の強化

大学院への進学

C カリキュラムポリシー(CP) 学力の3要素に基づく教育 学部を越えた履修形態

A アドミッションポリシー(AP) 多様な学生の受け入れ

4 中長期計画

多様化社会への大学の質的転換

- ① 教育の質のさらなる向上の推進
- ② 学生に寄り添い育てる体制の推進
- ③ 学内外との連携による教育・研究活動の推進
- ④ 国際化の推進
- ⑤ 入学生確保による競争力の強化

6 学部学科の教育目標

各学部・学科は以下の目標に基づいて 人材育成をする。

法学部法学科

- ①学修継続力の向上
- ②公務員採用試験合格の継続的輩出

経済学部経済学科

- ①コース制を軸とした教育の充実
- ②入学者の質の向上と高いレベルの教育の充実
- ③社会人力の養成
- 経営学部経営学科
- ①成績評価に基づく教育の充実
- ②各コースの特徴を生かした展開
- 経営学部商学科
- ①能力別クラス分けによる
 - 学習支援体制の充実
- ②各コース間の科目連携の強化

5 中長期展開目標

① 教員の教育・研究・社会貢献力

教育力の向上の推進 研究力向上の推進 地域貢献活動力向上の推進

② 学生支援力

各種フィールドスタディの推進 キャリア教育、各種インターンシップの推進 社会人として必要な資格取得支援の推進

③ 募集力

高大連携アドバイザーの活動推進 学生生活の見える化と発信 教育内容、地域活動の見える化と発信

④ 国際力

東南アジアの国々との連携

7 本学の個性・特色(現状)

- ① 社会事象に対する実践力・専門力の涵養 4年一貫ゼミ、学部・分野横断型プログラムの推進
- ② 社会と呼吸する大学としての地域連携・貢献 市町村との協定に基づく教育研究の推進 フィールドスタディの実施
- ③ 教育研究体制の強化外部資金(科研費、文科省公募事業、企業等)
- ④ 国内外の交流の推進 東南アジアの国々、国内他大学との連携 本学・他大学の大学院進学者の推進